

第3次妙高市総合計画の策定経過

《平成30年度》

4月4日～30日	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり市民意識調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○対象人数：市民1,000人 ○回答人数：404人(回答率40.4%)
5月23日	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回総合計画庁内策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ○策定体制、スケジュール ○まちづくり市民意識調査の結果 等
8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回総合計画庁内策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ○第2次総合計画の評価
8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> ○総合計画策定の諮問 ○第3次総合計画の策定概要、体制、スケジュール ○まちづくり市民意識調査の結果 等
10月9日	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回総合計画庁内策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ○第2次総合計画・妙高版総合戦略の評価 ○課題に対応した施策の検討
10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> ○第2次総合計画・妙高版総合戦略の評価 ○課題の整理と対応策の検討 等
1月15日	<ul style="list-style-type: none"> ●第4回総合計画庁内策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ○第3次総合計画の体系 ○第3次総合計画の施策
1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> ○第3次総合計画の体系・施策構成の検討 等
2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ●第5回総合計画庁内策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ○第3次総合計画の将来像 ○第3次総合計画の重点プロジェクト
3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ●第6回総合計画庁内策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ○第3次総合計画の重点プロジェクト ○第3次総合計画の施策の内容 等
3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ●第4回総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> ○第3次総合計画の基本理念 ○第3次総合計画の重点プロジェクト、施策構成 等

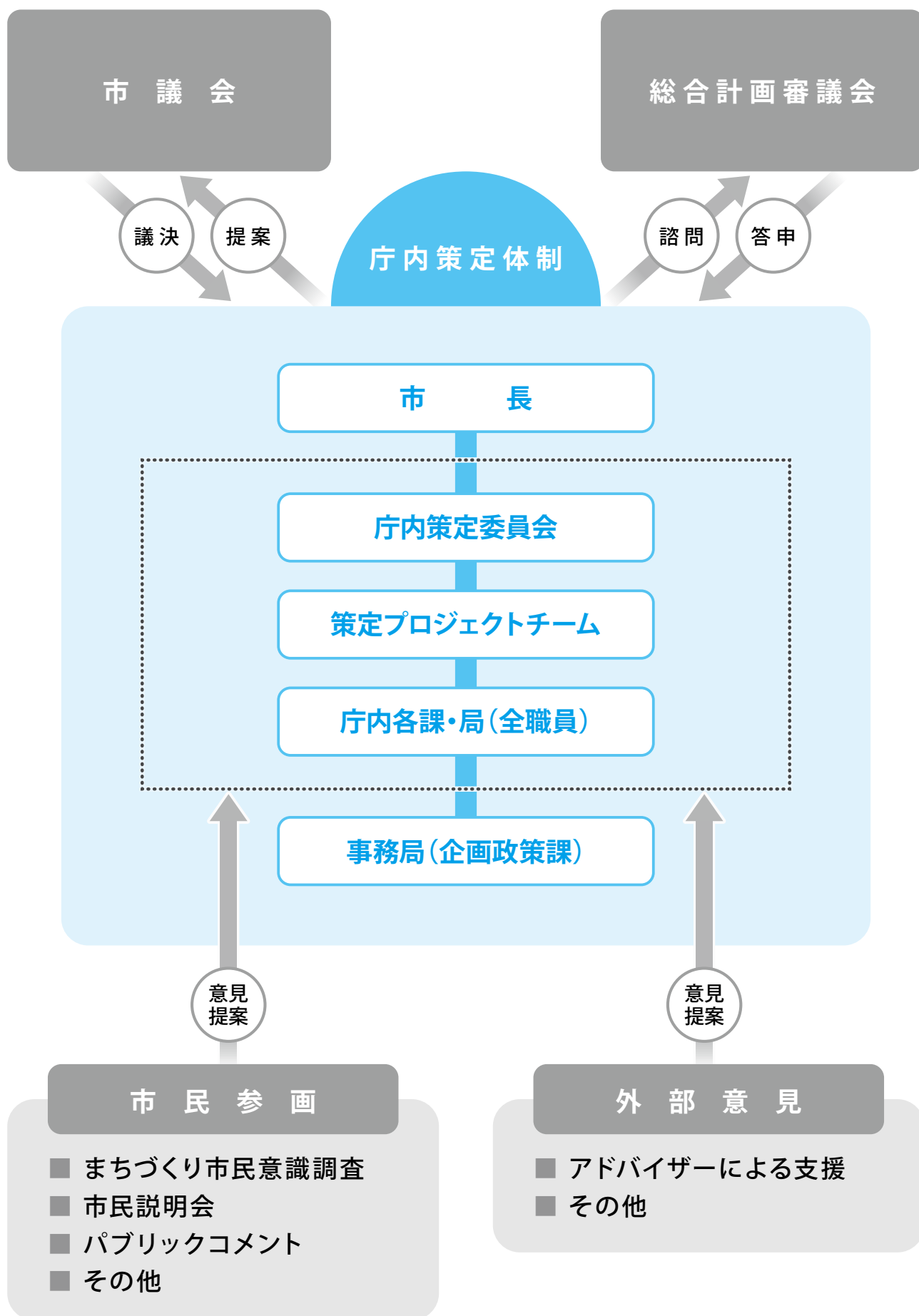
※その他、庁内プロジェクトチーム会議を4回開催

《 令和元年度 》

5月13日	<ul style="list-style-type: none"> ●第7回総合計画庁内策定委員会 ○第3次総合計画の策定状況について ○第3次総合計画の素案について
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ●第5回総合計画審議会 ○第3次総合計画の策定状況について ○第3次総合計画の素案について ○第3次総合計画の施策構成について
6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ●6月議会全員協議会にて報告 ※総合計画(案)の概要を説明
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> ●第6回総合計画審議会 ○妙高版総合戦略の評価について ○第2次総合計画の評価について
7月2日	<ul style="list-style-type: none"> ●第8回総合計画庁内策定委員会 ○重点プロジェクトについて ○人口減少問題に関する戦略目標について
7月9日	<ul style="list-style-type: none"> ●第7回総合計画審議会 ○第2次総合計画の評価について ○第3次総合計画の重点プロジェクト等について
7月31日 8月2日	<ul style="list-style-type: none"> ●第9回、第10回総合計画庁内策定委員会 ○第3次総合計画の素案について
8月7日 8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ●第8回、第9回総合計画審議会 ○第3次総合計画の素案について
9月25日 10月1日	<ul style="list-style-type: none"> ●議員との意見交換会 ○第3次総合計画(案)の概要説明、意見交換
9月25日～ 10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ●パブリックコメント(30日間実施) ○提出意見 1件(1人) 計画への反映 0件
9月25日	<ul style="list-style-type: none"> ●市民説明会(新井地域) 20名参加
9月26日	<ul style="list-style-type: none"> ●市民説明会(妙高地域) 13名参加
9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ●市民説明会(妙高高原地域) 15名参加
11月8日	<ul style="list-style-type: none"> ●第11回総合計画庁内策定委員会 ○第3次総合計画(案)について
11月13日	<ul style="list-style-type: none"> ●第10回総合計画審議会 ○第3次総合計画(案)について ※最終案を審議 ○答申
12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ●12月議会定例会にて議決

※その他、庁内プロジェクトチーム会議を2回開催

第3次妙高市総合計画の策定体制



1. 調査の概要

(1) 目的

第3次妙高市総合計画の策定に向けて、市政の満足度や重点を置くべき施策分野等を把握するため、まちづくり市民意識調査を実施する。

(2) 実施期間：平成30年4月4日(水)～4月30日(土)

(3) 調査内容

- ① 調査対象：市内在住の15歳以上の市民1,000人(無作為抽出)
- ② 調査方法：紙ベースによりアンケート用紙を送付し、郵送による回答
- ③ 調査項目
 - ・ 基本的属性等(性別、年齢、職業等)
 - ・ 市の「魅力」と「住みよさ」
 - ・ 市が目指すべき「将来像」
 - ・ 総合計画の施策別(細分類46項目)の満足度と重要度等
 - ・ その他(各課の取り組み等)

(4) 回答状況

- ・ 配付数：1,000人
- ・ 回答人数：404人
- ・ 回答率：40.40%

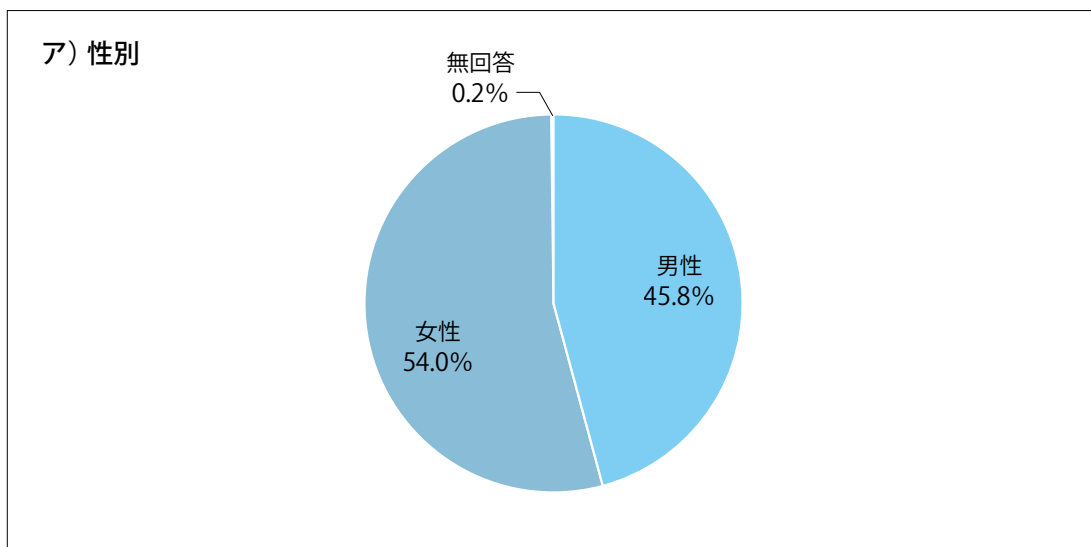
(5) その他

- ・ 集計表は、小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100%にならない場合がある。

2. 基本的属性等

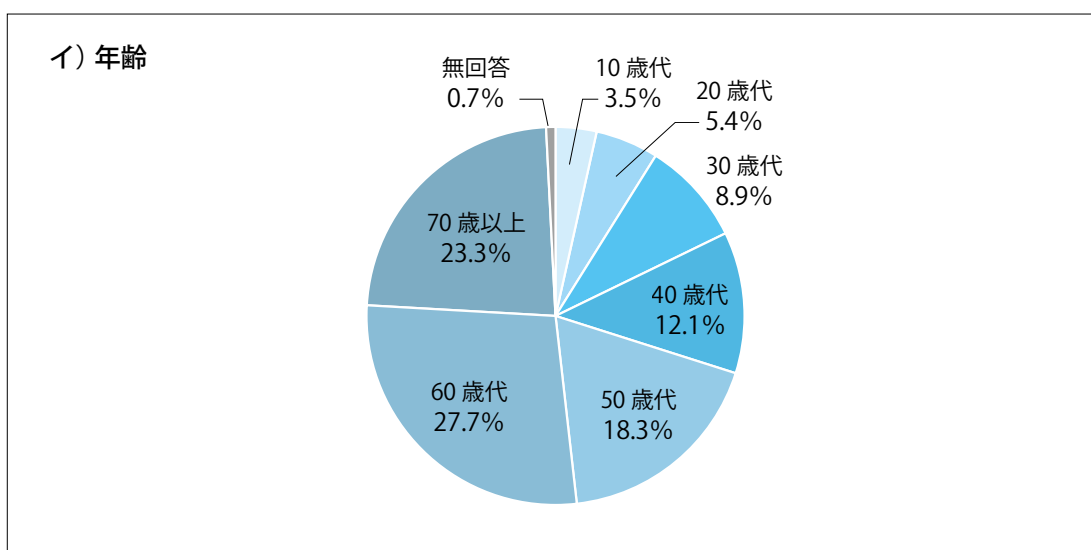
(1) あなた自身のことをお伺いします。(問1)

ア) 性別



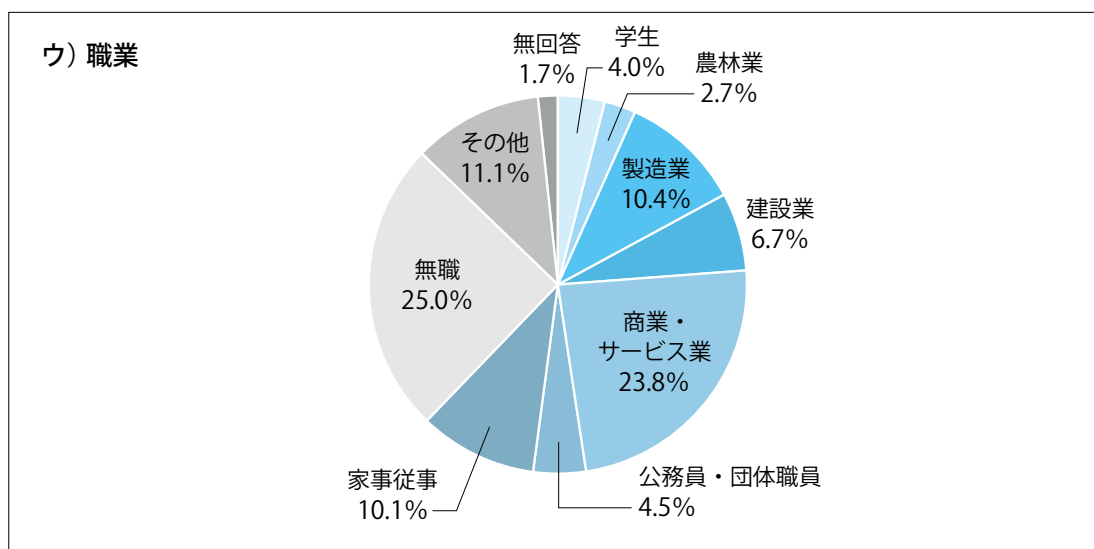
・「男性」が45.8%、「女性」が54.0%で「女性」の割合が高くなっている。

イ) 性別



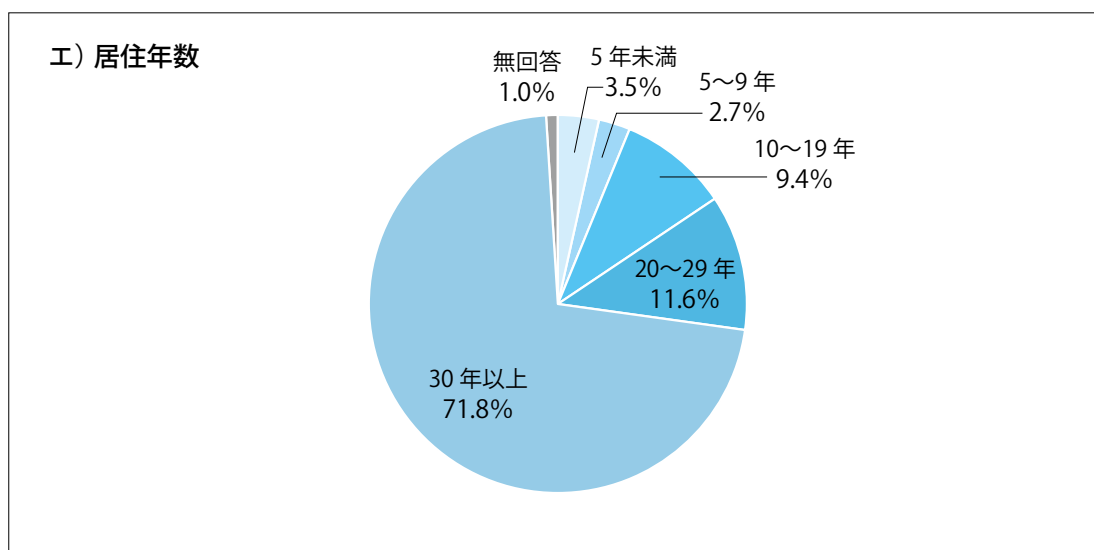
・年齢構成をみると「30歳代」が8.9%、「40歳代」が12.1%、「50歳代」が18.3%、「60歳代」が27.7%、「70歳以上」が23.3%となっており、60歳代・70歳以上の回答率が高くなっている。

ウ) 職業



- ・ 主な職業は「無職」が25.0%と最も割合が高く、次いで「商業・サービス業」が23.8%、「製造業」が10.4%の順となっている。

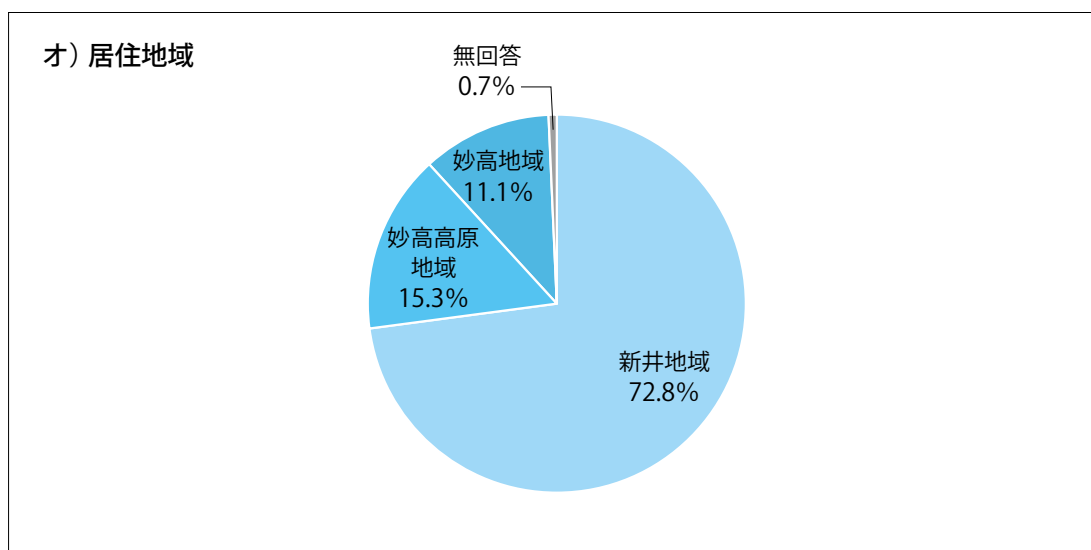
エ) 居住年数



- ・ 居住年数は「30年以上」が71.8%と最も割合が高く、次いで「20~29年」が11.6%、「10~19年」が9.4%の順となっている。

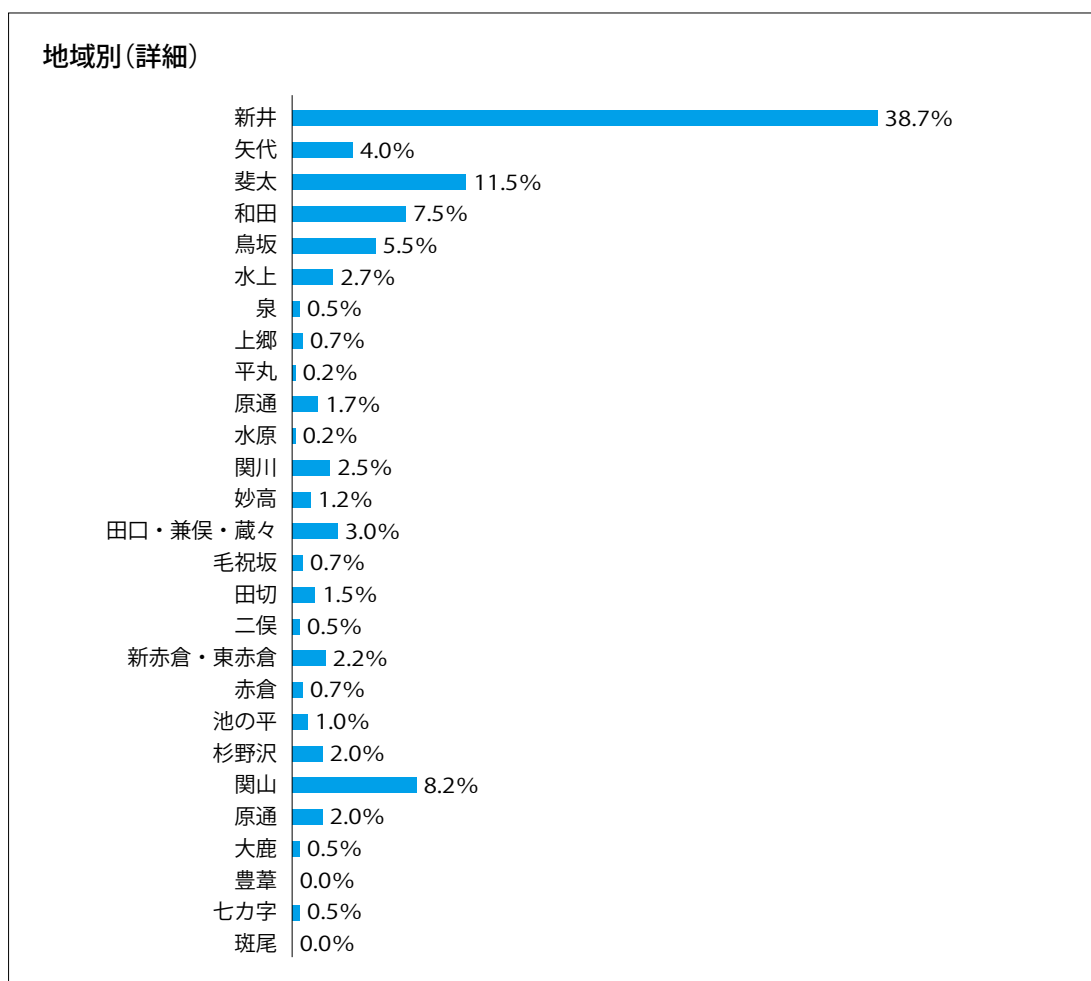
オ) 居住地域

① 全体



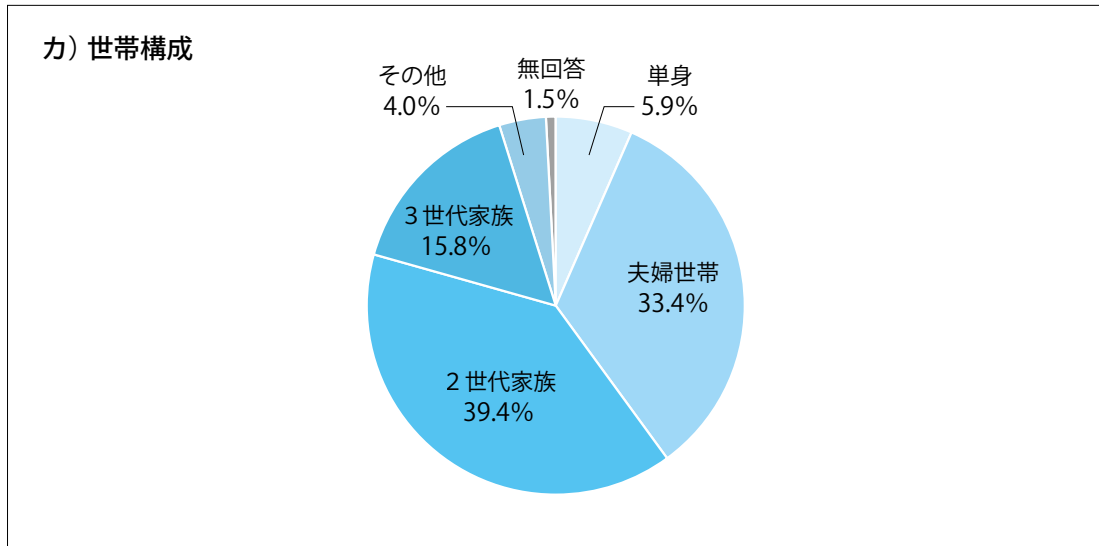
- ・ 居住地域は「新井地域」が72.8%、「妙高高原地域」が15.3%、「妙高地域」が11.1%となっている。

② 地域別(詳細)



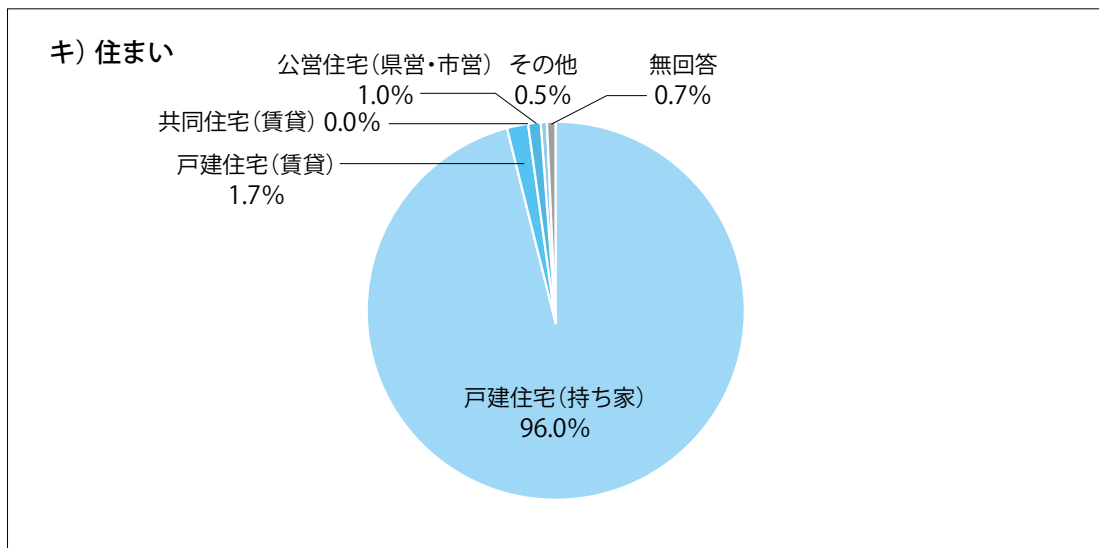
- ・ 地域別で回答率が高かったのは、新井地域では「新井」が38.7%、妙高高原地域では「田口」が3.0%、妙高地域では「関山」が8.2%となっている。

カ) 世帯構成



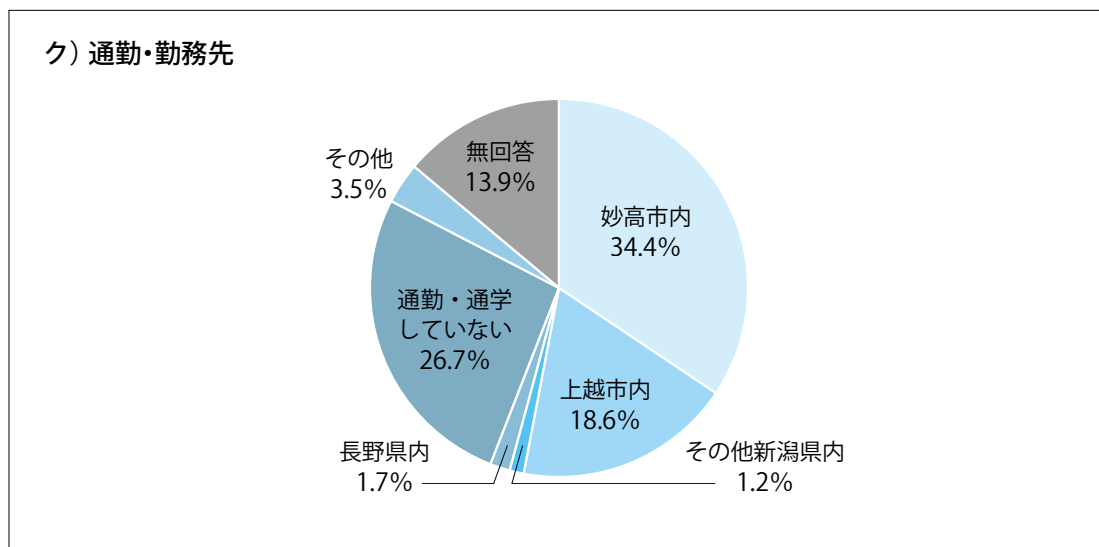
- ・世帯構成は「2世代家族」が39.4%と最も割合が高く、次いで「夫婦世帯」が33.4%、「3世代家族」が15.8%の順となっている。

キ) 住まい



- ・住まいは「戸建住宅(持ち家)」が96.0%と最も割合が高く、次いで「戸建住宅(賃貸)」が1.7%の順となっている。

ク) 通勤・勤務先

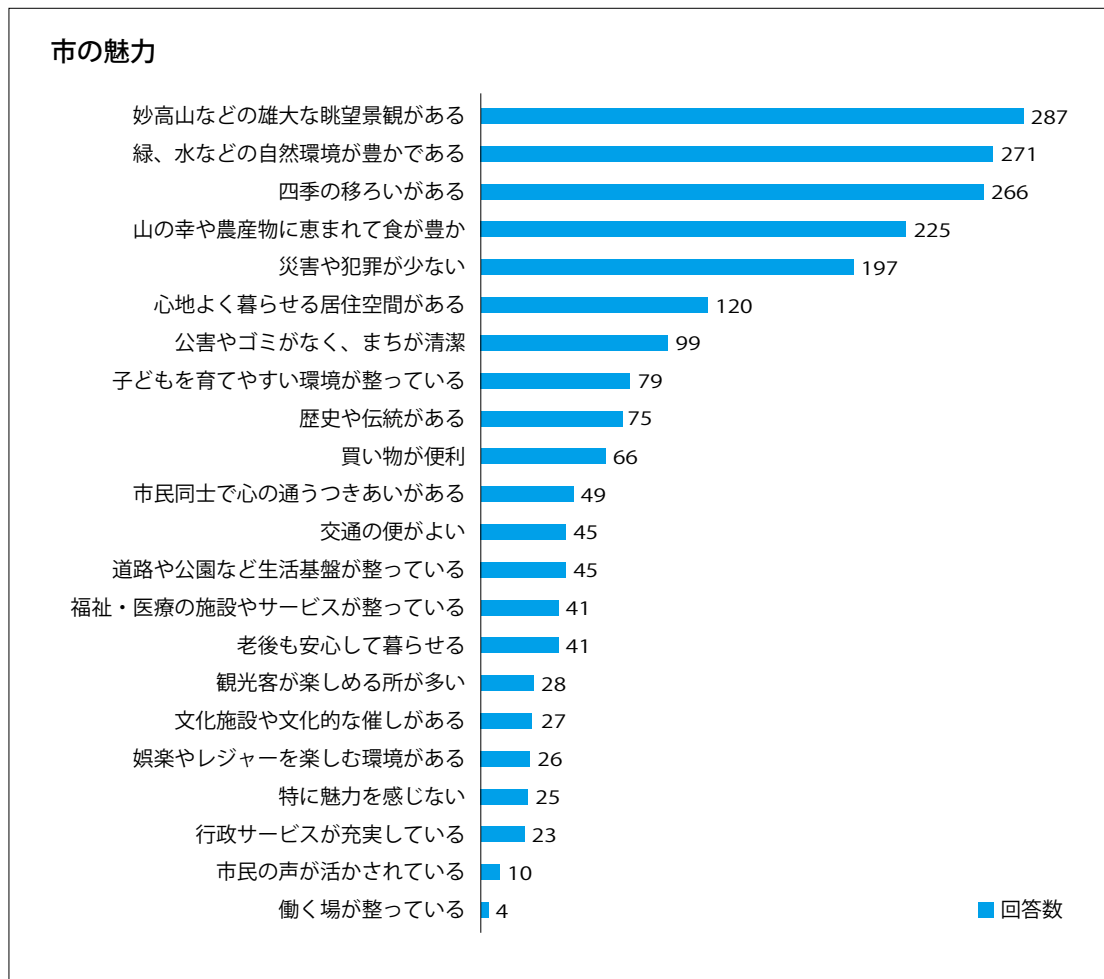


- ・通勤・勤務先は「妙高市内」が34.4%と最も割合が高く、次いで、「通勤・通学していない」が26.7%、「上越市内」が18.6%の順となっている。

3. 妙高市の「魅力」と「住みよさ」などについてお伺いします。

(1) あなたは、どんなところに妙高市の魅力を感じていますか。(問2)

① 全体



《回答数のランキング》

順位	回答項目	回答数	回答率
1	妙高山などの雄大な眺望景観がある	287	14.0%
2	緑、水などの自然環境が豊かである	271	13.2%
3	四季の移ろいがある	266	13.0%
4	山の幸や農産物に恵まれて食が豊か	225	11.0%
5	災害や犯罪が少ない	197	9.6%
6	心地よく暮らせる居住空間がある	120	5.8%
7	公害やゴミがなく、まちが清潔	99	4.8%
8	子どもを育てやすい環境が整っている	79	3.8%
9	歴史や伝統がある	75	3.7%
10	買い物が便利	66	3.2%
11	市民同士で心の通うつきあいがある	49	2.4%
12	交通の便がよい	45	2.2%
12	道路や公園など生活基盤が整っている	45	2.2%
14	福祉・医療の施設やサービスが整っている	41	2.0%
14	老後も安心して暮らせる	41	2.0%
16	観光客が楽しめる所が多い	28	1.4%
17	文化施設や文化的な催しがある	27	1.3%
18	娯楽やレジャーを楽しむ環境がある	26	1.3%
19	特に魅力を感じない	25	1.2%
20	行政サービスが充実している	23	1.1%
21	市民の声が活かされている	10	0.5%
22	働く場が整っている	4	0.2%

- 市の魅力についての上位は、「妙高山などの雄大な眺望景観がある」が最も多く、次いで「緑、水などの自然環境が豊かである」、「四季の移ろいがある」の順となっている。
- 下位については、「働く場が整っている」が最も少なく、次いで「市民の声が活かされている」、「行政サービスが充実している」の順となっている。

② クロス集計（魅力×年代別）

■「魅力」と「年代」別とのクロス集計結果（順位）

回 答 項 目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
子どもを育てやすい環境が整っている	10	7	6	8	9	9	11
公害やゴミがなく、まちが清潔	7	8	8	7	6	8	6
災害や犯罪が少ない	2	6	7	4	5	5	5
買い物が便利	15	9	11	9	11	11	8
交通の便がよい	15	13	9	13	13	14	11
福祉・医療の施設やサービスが整っている	11	13	21	15	16	11	10
老後も安心して暮らせる	11	13	18	15	14	14	9
心地よく暮らせる居住空間がある	6	5	4	6	6	6	7
道路や公園など生活基盤が整っている	11	9	11	10	11	19	15
妙高山などの雄大な眺望景観がある	3	4	1	1	1	1	2
緑、水などの自然環境が豊かである	3	1	2	1	2	3	4
四季の移ろいがある	1	2	3	3	3	2	1
歴史や伝統がある	7	13	9	10	8	7	14
文化施設や文化的な催しがある	15	17	13	17	16	18	16
娯楽やレジャーを楽しむ環境がある	11	12	18	13	19	14	19
市民同士で心の通うつきあいがある	15	17	13	12	16	9	11
働く場が整っている	15	17	21	22	19	22	22
山の幸や農産物に恵まれて食が豊か	3	3	4	5	4	4	2
観光客が楽しめる所が多い	15	17	13	17	14	13	18
市民の声が活かされている	15	17	17	19	21	21	21
行政サービスが充実している	15	17	18	19	21	14	16
特に魅力を感じない	7	9	13	19	10	20	20

- ・年代別にみると「妙高山などの雄大な眺望景観がある」が30歳代から60歳代の間で1位となっており、そのほかの年代でも高い順位となっている。また「緑、水などの自然環境が豊かである」、「四季の移ろいがある」についても全ての年代で高い順位となっている。
- ・全ての年代において、「山の幸や農産物に恵まれて食が豊か」、「心地よく暮らせる居住空間がある」の順位が高くなっている。また10歳代では「災害や犯罪が少ない」の順位が高くなっている。
- ・下位をみると「働く場が整っている」、「市民の声が活かされている」、「行政サービスが充実している」が全ての年代で低くなっている。
- ・30歳代では「福祉・医療の施設やサービスが整っている」の順位が低くなっている一方で、60歳代、70歳以上では高くなっている。

③ クロス集計（魅力×地域別）

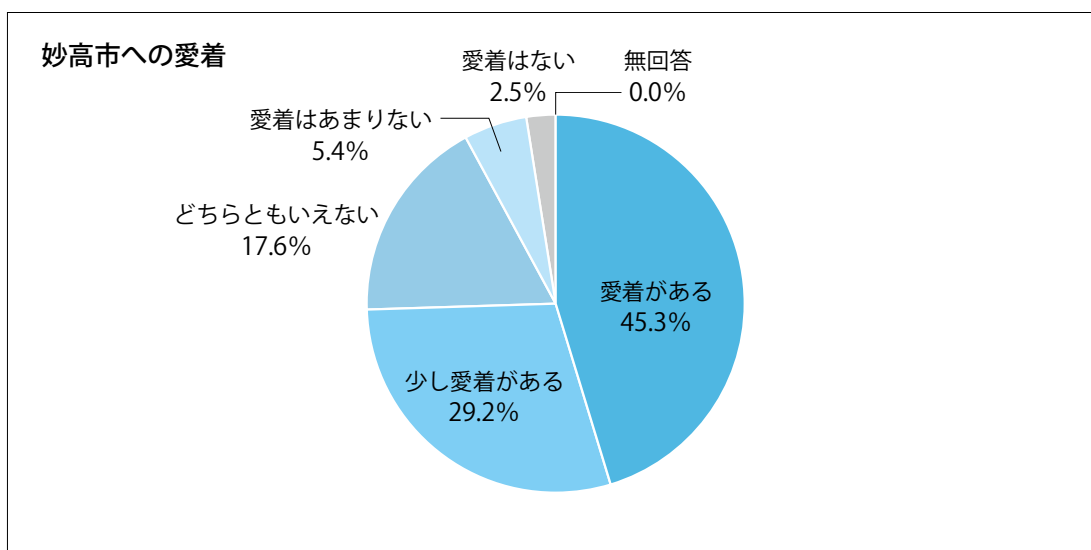
■「魅力」と「年代」別のクロス集計結果（順位）

回 答 項 目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
子どもを育てやすい環境が整っている	8	12	8
公害やゴミがなく、まちが清潔	7	6	8
災害や犯罪が少ない	5	4	5
買い物が便利	9	17	13
交通の便がよい	12	14	15
福祉・医療の施設やサービスが整っている	15	10	12
老後も安心して暮らせる	13	17	13
心地よく暮らせる居住空間がある	6	7	6
道路や公園など生活基盤が整っている	11	14	17
妙高山などの雄大な眺望景観がある	1	1	1
緑、水などの自然環境が豊かである	2	3	2
四季の移ろいがある	3	2	2
歴史や伝統がある	10	8	6
文化施設や文化的な催しがある	16	17	15
娯楽やレジャーを楽しむ環境がある	19	12	17
市民同士で心の通うつきあいがある	14	8	10
働く場が整っている	22	22	21
山の幸や農産物に恵まれて食が豊か	4	5	4
観光客が楽しめる所が多い	20	10	11
市民の声が活かされている	21	21	21
行政サービスが充実している	18	16	20
特に魅力を感じない	17	20	17

- ・地域別にみると「妙高山などの雄大な眺望景観がある」が全ての地域で1位となっており、「緑、水などの自然環境が豊かである」、「四季の移ろいがある」についても高い順位となっている。
- ・新井地域では「観光客が楽しめる所が多い」の順位が低い一方で、妙高高原地域、妙高地域では高くなっている。
- ・下位をみると「働く場が整っている」、「市民の声が活かされている」、「行政サービスが充実している」が全ての地域で低くなっている。

(2) 「自分のまち」として、妙高市に愛着がありますか。(問3)

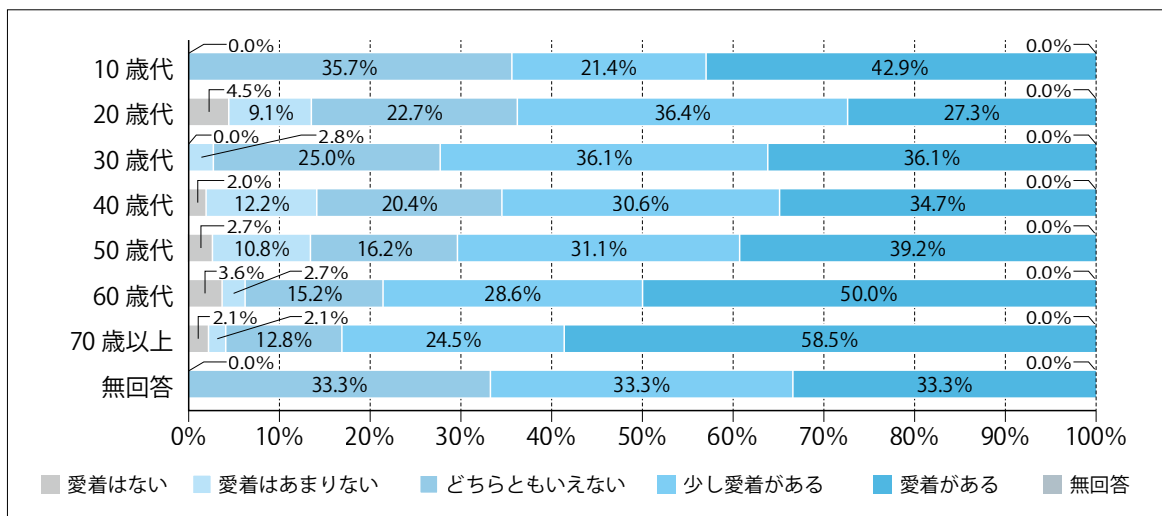
① 全体



- ・ 妙高市への愛着については、市全体でみると、「愛着がある」が45.3%で、「愛着はない」が2.5%となっている。

② クロス集計(愛着×年代別)

■ 「魅力」と「年代」別とのクロス集計結果(順位)

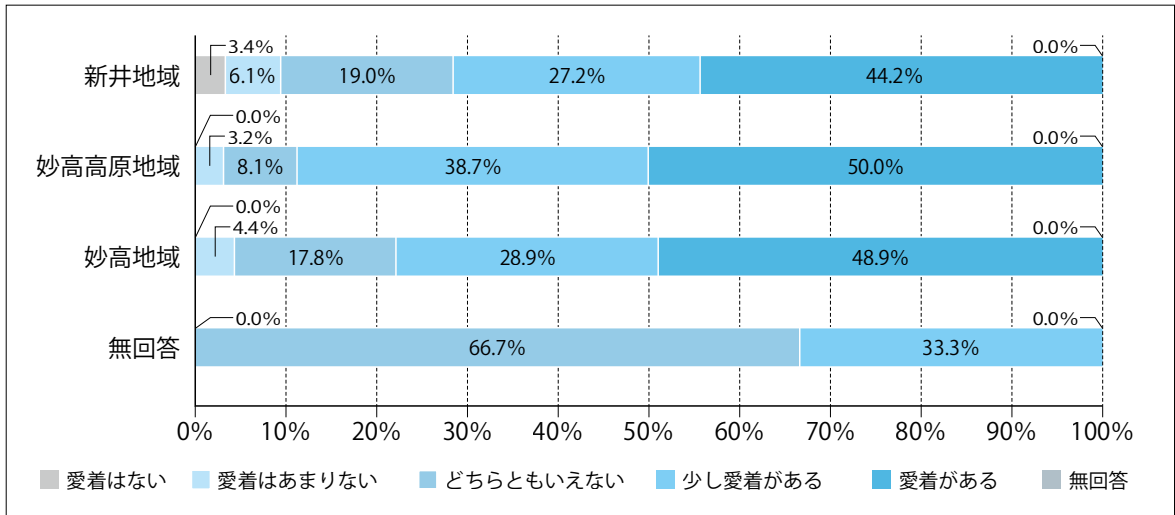


	愛着はない	愛着はあまりない	どちらともいえない	少し愛着がある	愛着がある	無回答	総数
10 歳代	0.0%	0.0%	35.7%	21.4%	42.9%	0.0%	100.0%
20 歳代	4.5%	9.1%	22.7%	36.4%	27.3%	0.0%	100.0%
30 歳代	0.0%	2.8%	25.0%	36.1%	36.1%	0.0%	100.0%
40 歳代	2.0%	12.2%	20.4%	30.6%	34.7%	0.0%	100.0%
50 歳代	2.7%	10.8%	16.2%	31.1%	39.2%	0.0%	100.0%
60 歳代	3.6%	2.7%	15.2%	28.6%	50.0%	0.0%	100.0%
70 歳以上	2.1%	2.1%	12.8%	24.5%	58.5%	0.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%

- ・ 年代別にみると「愛着がある」と答えた割合が一番高かった年代は、「70歳以上」で58.5%となっており、「愛着はない」と答えた割合が一番高かった年代は「20歳代」で4.5%となっている。

③ クロス集計(愛着×地域別)

■「愛着」と「地域」別とのクロス集計結果

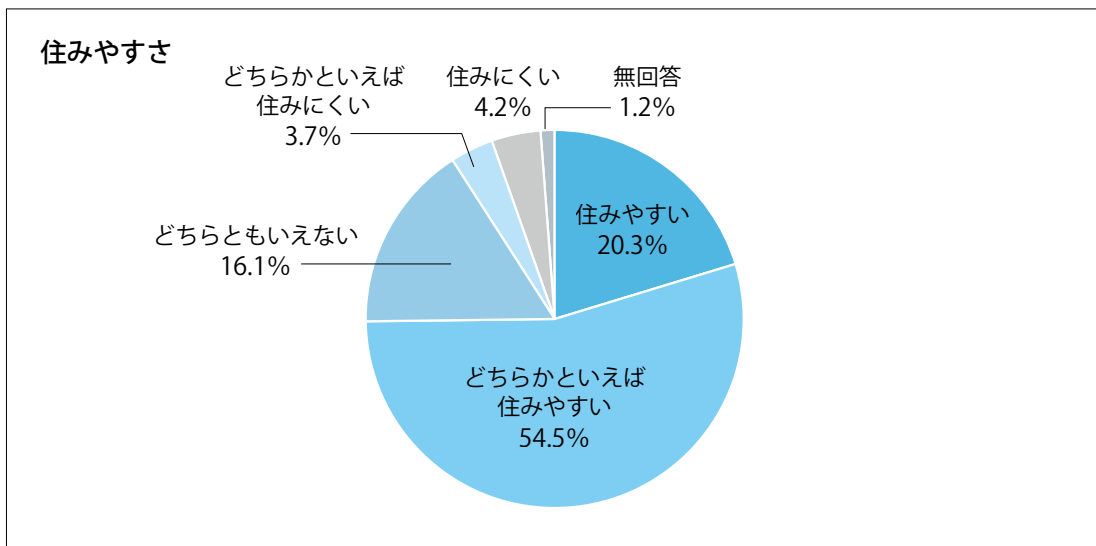


	愛着はない	愛着はあまりない	どちらともいえない	少し愛着がある	愛着がある	無回答	総数
新井地域	3.4%	6.1%	19.0%	27.2%	44.2%	0.0%	100.0%
妙高高原地域	0.0%	3.2%	8.1%	38.7%	50.0%	0.0%	100.0%
妙高地域	0.0%	4.4%	17.8%	28.9%	48.9%	0.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%

- ・地域別にみると「愛着がある」と答えた割合が一番高かった地域は「妙高高原地域」で、50.0%となっており、「愛着はない」と答えた割合が一番高かった地域が、「新井地域」で3.4%となっている。

(3) あなたにとって妙高市は住みやすいところだと思いますか。(問4)

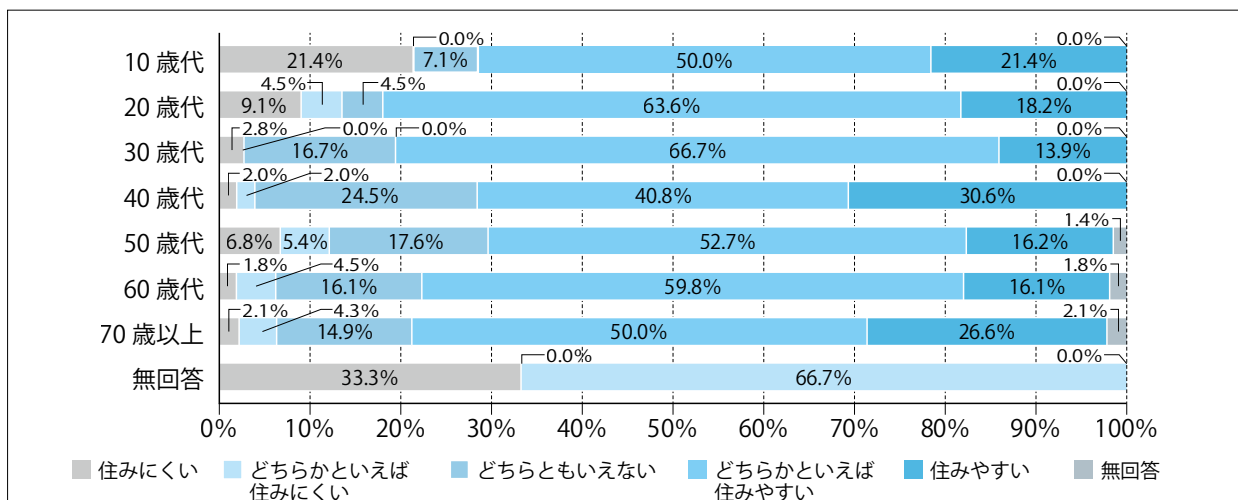
① 全体



- ・住みやすさについては、市全体で見ると、「住みやすい」が20.3%となっており、「住みにくい」が、4.2%となっている。

② クロス集計(住みやすさ×年代別)

■「住みやすさ」と「年代別」とのクロス集計結果

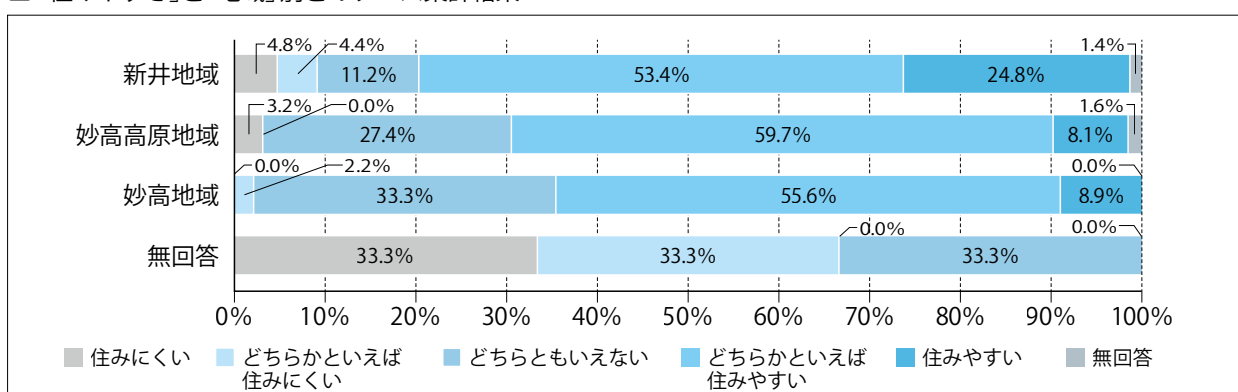


	住みにくい	どちらかといえば住みにくい	どちらともいえない	どちらかといえば住みやすい	住みやすい	無回答	総数
10歳代	21.4%	0.0%	7.1%	50.0%	21.4%	0.0%	100.0%
20歳代	9.1%	4.5%	4.5%	63.6%	18.2%	0.0%	100.0%
30歳代	2.8%	0.0%	16.7%	66.7%	13.9%	0.0%	100.0%
40歳代	2.0%	2.0%	24.5%	40.8%	30.6%	0.0%	100.0%
50歳代	6.8%	5.4%	17.6%	52.7%	16.2%	1.4%	100.0%
60歳代	1.8%	4.5%	16.1%	59.8%	16.1%	1.8%	100.0%
70歳以上	2.1%	4.3%	14.9%	50.0%	26.6%	2.1%	100.0%
無回答	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

- ・年代別にみると「住みやすい」と答えた割合が一番高かった年代は「40歳代」で30.6%となっており、「住みにくい」と答えた割合が一番高かった年代が「10歳代」で21.4%となっている。

③ クロス集計(住みやすさ×地域別)

■「住みやすさ」と「地域」別とのクロス集計結果

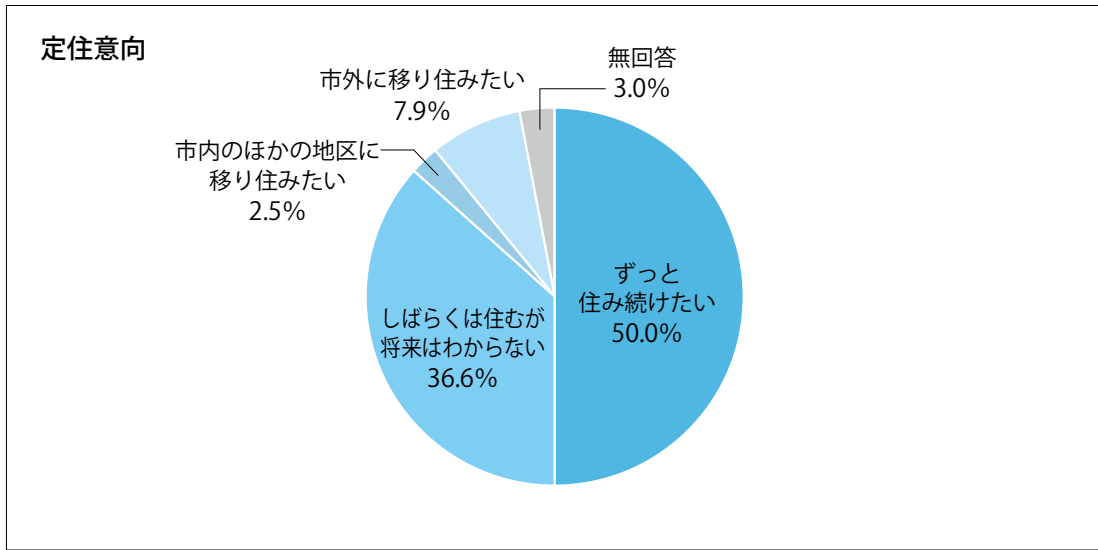


	住みにくい	どちらかといえば住みにくい	どちらともいえない	どちらかといえば住みやすい	住みやすい	無回答	総数
新井地域	4.8%	4.4%	11.2%	53.4%	24.8%	1.4%	100.0%
妙高高原地域	3.2%	0.0%	27.4%	59.7%	8.1%	1.6%	100.0%
妙高地域	0.0%	2.2%	33.3%	55.6%	8.9%	0.0%	100.0%
無回答	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%

- ・地域別にみると、「住みやすい」と答えた割合が一番高かった地域は「新井地域」で24.8%となっており、「住みにくい」と答えた割合が一番高かった地域は「新井地域」で4.8%となっている。

(4) あなたは、今後も、妙高市に住み続けたいと思いますか。(問5)

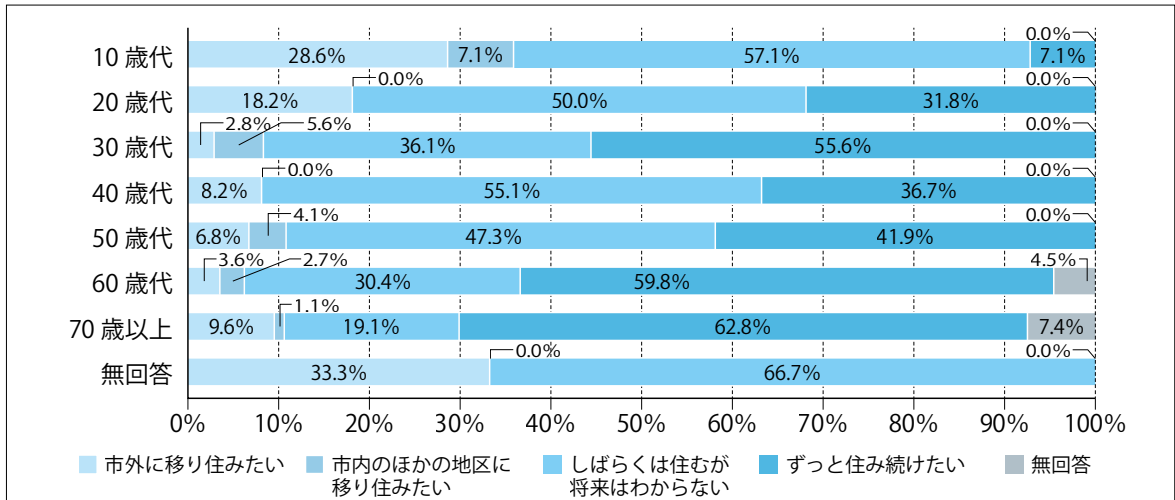
① 全体



・定住意向については、市全体でみると「ずっと住み続けたい」が50.0%で、「市外に移り住みたい」が7.9%となっている。

② クロス集計(定住意向×年代別)

■「今後も住み続けたいか」と「年代」別のクロス集計結果



	市外に移り住みたい	市内のほかの地区に移り住みたい	しばらくは住むが将来はわからない	ずっと住み続けたい	無回答	総数
10 歳代	28.6%	7.1%	57.1%	7.1%	0.0%	100.0%
20 歳代	18.2%	0.0%	50.0%	31.8%	0.0%	100.0%
30 歳代	2.8%	5.6%	36.1%	55.6%	0.0%	100.0%
40 歳代	8.2%	0.0%	55.1%	36.7%	0.0%	100.0%
50 歳代	6.8%	4.1%	47.3%	41.9%	0.0%	100.0%
60 歳代	3.6%	2.7%	30.4%	58.9%	4.5%	100.0%
70 歳以上	9.6%	1.1%	19.1%	62.8%	7.4%	100.0%
無回答	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

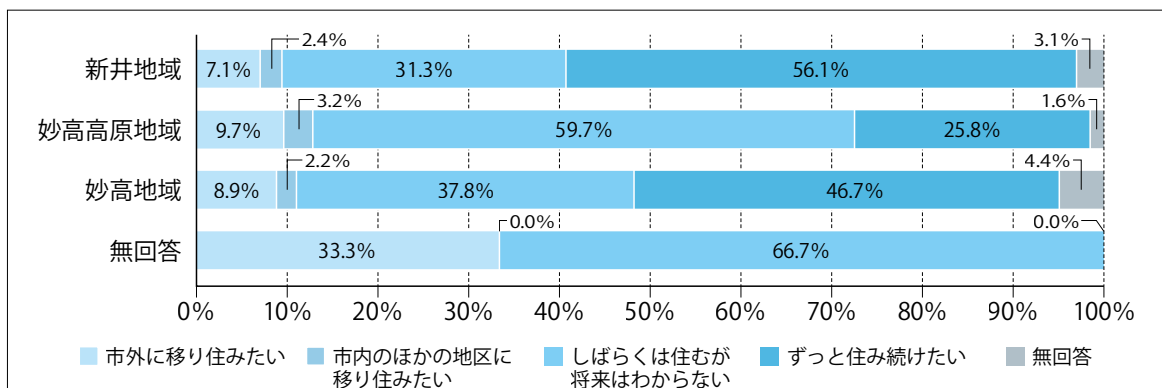
・年代別にみると、「ずっと住み続けたい」と答えた割合が一番高かった年代は「70歳以上」で、62.8%となっており、「市外に移り住みたい」と答えた割合が一番高かった年代は「10歳代」で28.6%となっている。

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章

資料編

③ クロス集計(定住意向×地域別)

■「今後も住み続けたいか」と「地域」別とのクロス集計結果

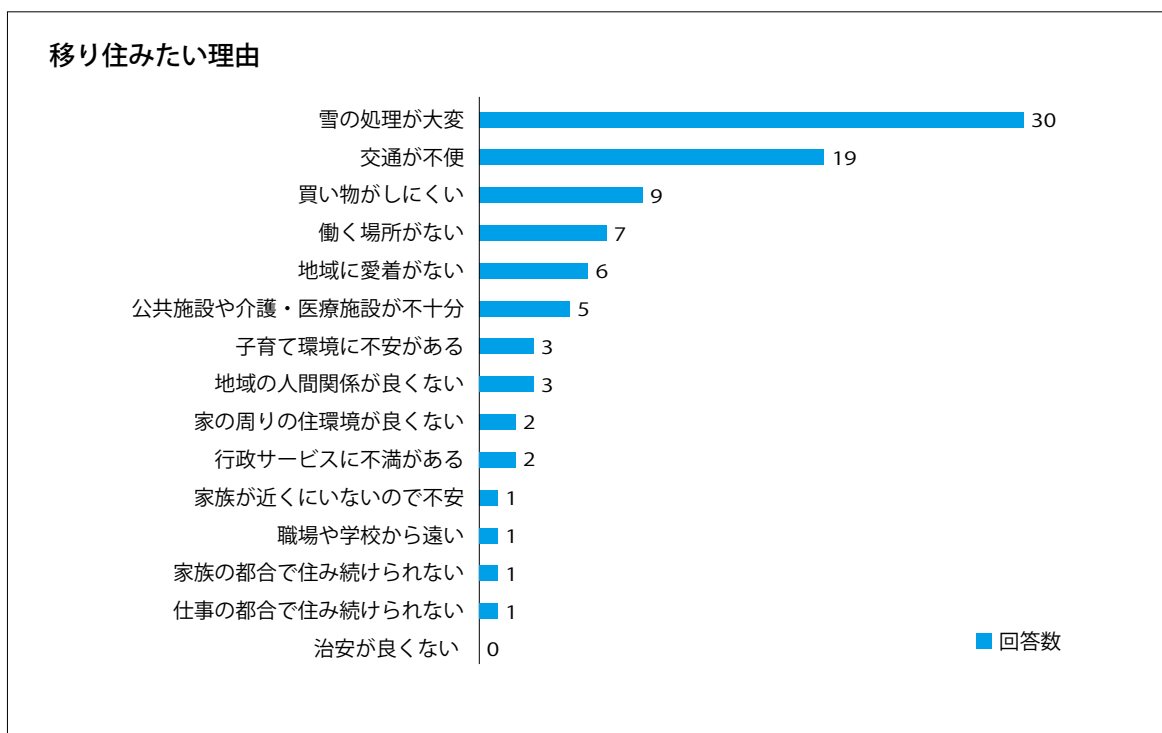


	市外に移り住みたい	市内のほかの地区に移り住みたい	しばらくは住むが将来はわからない	ずっと住み続けたい	無回答	総数
新井地域	7.1%	2.4%	31.3%	56.1%	3.1%	100.0%
妙高高原地域	9.7%	3.2%	59.7%	25.8%	1.6%	100.0%
妙高地域	8.9%	2.2%	37.8%	46.7%	4.4%	100.0%
無回答	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

- ・地域別にみると、「ずっと住み続けたい」と答えた割合が一番高かった地域は「新井地域」で56.1%となっており、「市外に移り住みたい」と答えた割合が一番高かった地域は「妙高高原地域」で9.7%となっている。

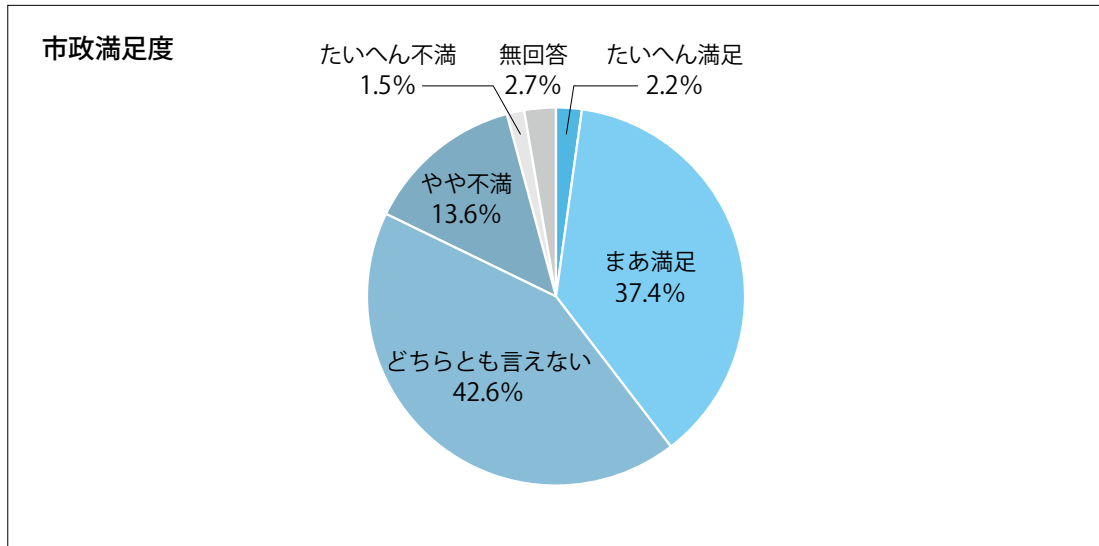
(2) あなたが移り住みたいと考える理由は何ですか。(問6)

※この質問は、(4)で「市外又は市内に移り住みたい」を選んだ方のみ回答。



- ・移住したい理由は、「雪の処理が大変」が最も多く、次いで、「交通が不便」、「買い物がしにくい」の順となっている。

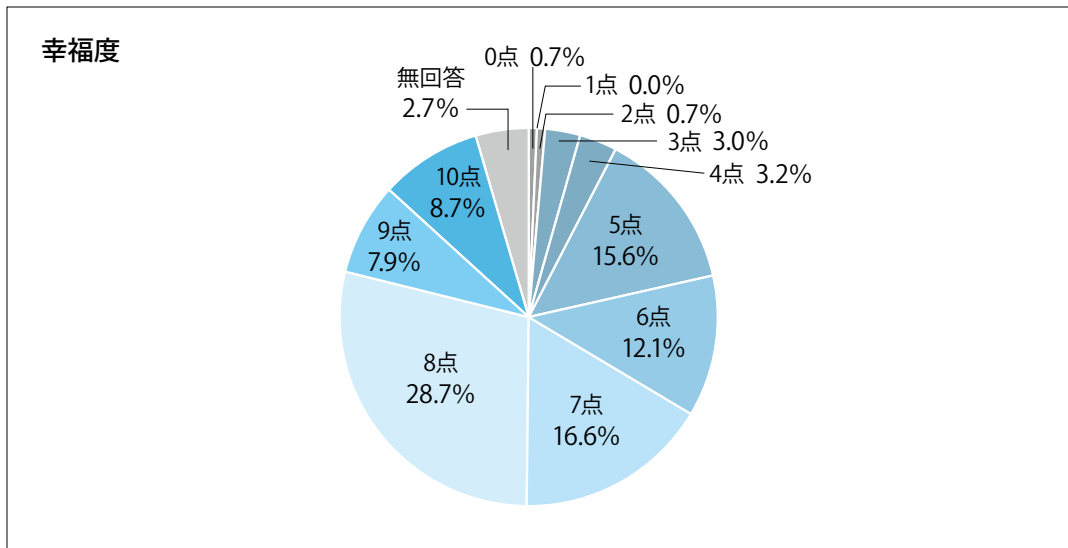
(6) 市政全般について、どの程度満足していますか。(問8)



- ・ 市政全般の満足度については「たいへん満足・まあ満足」が合計で39.6%、「たいへん不満・やや不満」が合計で15.1%となっている。

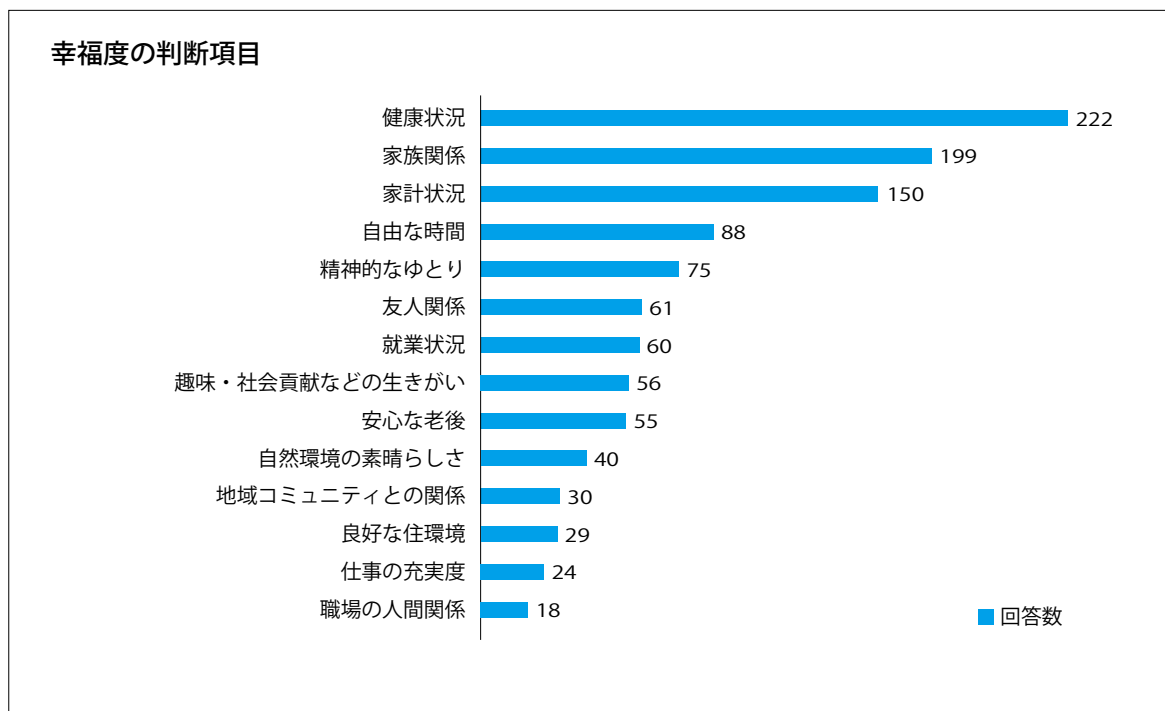
(7) あなた自身の幸福感について、あなたはどの程度幸せですか。(問34)

※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として回答。



- ・ 幸福度は「8点」が最も多く、次いで、「7点」、「5点」、「6点」、「10点」の順となっている。

(8) 幸福感を判断する際に重視した「事項」は何ですか。(問35)

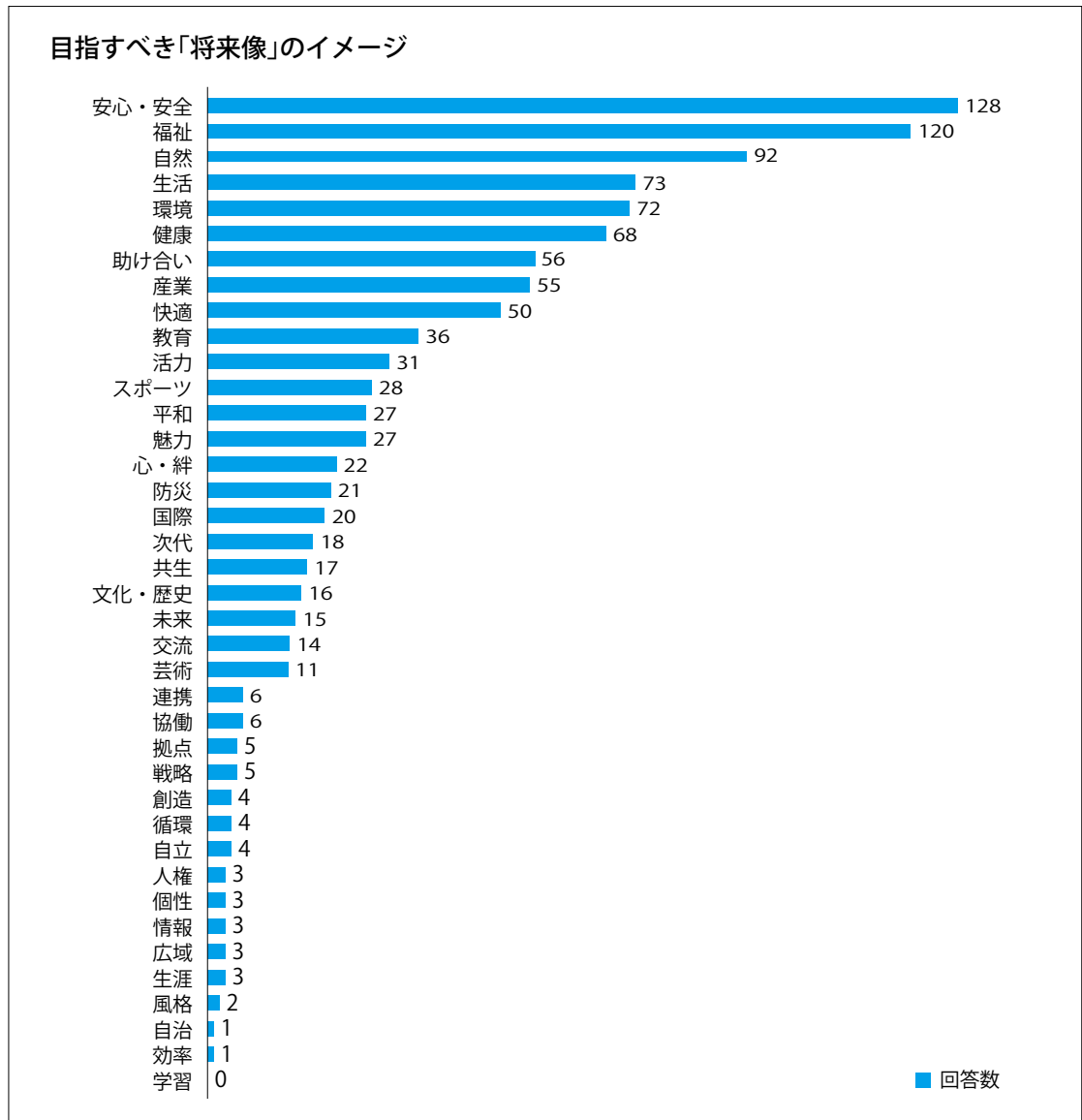


- 幸福度の判断事項は、「健康状況」が最も多く、次いで、「家族関係」、「家計状況」、「自由な時間」、「精神的なゆとり」の順となっている。

4. 妙高市が目指すべき「将来像」のイメージについてお伺いします。

(1) あなたは、どんなところに妙高市の魅力を感じていますか。(問7)

① 全体



《 回答数のランキング 》

順位	回答項目	回答数	順位	回答項目	回答数	順位	回答項目	回答数	順位	回答項目	回答数
1	安心・安全	128	11	活力	31	21	未来	15	31	人権	3
2	福祉	120	12	スポーツ	28	22	交流	14	31	個性	3
3	自然	92	13	平和	27	23	芸術	11	31	情報	3
4	生活	73	14	魅力	27	24	連携	6	31	広域	3
5	環境	72	15	心・絆	22	24	協働	6	31	生涯	3
6	健康	68	16	防災	21	26	拠点	5	36	風格	2
7	助け合い	56	17	国際	20	26	戦略	5	37	自治	1
8	産業	55	18	次代	18	28	創造	4	37	効率	1
9	快適	50	19	共生	17	28	循環	4	39	学習	0
10	教育	36	20	文化・歴史	16	28	自立	4			

・ 将来像のイメージについては、「安全・安心」が最も多く、次いで「福祉」、「自然」、「生活」、「環境」の順となっている。

② クロス集計（将来像×年代別）

■「将来像」と「年代」別とのクロス集計結果（順位）

回答項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
国際	3	13	7	16	12	25	23
文化・歴史	15	13	14	21	16	15	20
芸術	15	25	24	16	19	21	20
交流	15	13	14	16	22	22	12
環境	5	13	10	2	4	5	5
平和	5	13	10	13	13	17	9
風格	15	25	24	29	25	30	32
安全・安心	2	3	2	2	2	2	1
快適	3	1	3	4	13	9	16
活力	15	13	10	6	8	11	16
健康	15	7	7	6	6	8	3
福祉	15	1	4	4	2	1	2
創造	15	13	24	29	31	30	23
産業	5	3	7	8	8	6	8
循環	15	25	24	29	22	30	23
拠点	15	13	20	21	25	36	32
生活	5	3	4	8	5	4	7
人権	15	25	24	29	31	25	23
自治	15	25	24	21	31	36	32
自立	15	25	24	29	25	25	23
自然	1	10	6	1	1	3	4
個性	15	25	24	29	25	30	32
情報	15	25	24	29	25	30	23
防災	15	7	24	15	19	11	12
教育	9	13	1	12	13	10	16
学習	15	25	24	29	31	36	32
広域	15	25	24	29	31	25	23
助け合い	15	6	14	8	7	7	6
心・絆	9	13	14	13	16	17	10
共生	15	25	20	16	19	11	20
次代	9	10	20	21	16	17	12
戦略	15	25	14	21	31	30	23
連携	15	25	24	29	25	17	32
未来	15	10	14	16	22	22	12
協働	9	25	24	21	31	22	23
生涯	15	13	24	29	31	25	32
スポーツ	9	7	20	11	8	15	16
効率	15	25	24	21	31	36	32
魅力	9	13	10	21	8	14	10

- ・年代別にみると「安全・安心」が全ての年代で高い順位となっている。また「福祉」、「健康」は10歳代以外の年代で高い順位となっている。
- ・「自然」、「生活」、「環境」は全ての年代において順位が高くなっている。また30歳代では「教育」の順位が高くなっている。
- ・下位をみると「学習」、「効率」、「自治」が全ての年代で低くなっている。

③ クロス集計（将来像×地域別）

■「将来像」と「地域」別のクロス集計結果(順位)

回答項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
国際	15	16	21
文化・歴史	21	29	8
芸術	22	21	21
交流	23	13	12
環境	7	5	2
平和	12	9	21
風格	34	21	32
安全・安心	1	3	4
快適	9	8	8
活力	11	11	16
健康	7	4	5
福祉	2	2	1
創造	34	21	21
産業	6	9	11
循環	25	29	32
拠点	29	16	21
生活	4	7	5
人権	29	29	21
自治	38	21	32
自立	29	29	21
自然	3	1	3
個性	27	29	32
情報	29	21	32
防災	16	16	12
教育	10	29	8
学習	38	29	32
広域	29	21	32
助け合い	5	13	7
心・絆	13	29	21
共生	19	11	16
次代	18	16	12
戦略	27	29	16
連携	25	21	21
未来	19	16	16
協働	24	29	21
生涯	34	21	21
スポーツ	17	6	16
効率	34	29	32
魅力	13	13	12

- ・地域別にみると「安全・安心」が全ての地域で高い順位となっており、「福祉」、「自然」についても高い順位となっている。
- ・妙高地域では「文化・歴史」の順位が高い一方で、妙高高原地域では低くなっている。
- ・妙高高原地域では「スポーツ」の順位が高くなっている。また新井地域・妙高地域で「教育」の順位が高く、妙高高原地域では低くなっている。
- ・下位をみると「学習」、「効率」が全ての地域で低くなっている。

5. 妙高市の「まちづくりの満足度・重要度」についてお伺いします。(問8)

※46の主要施策と18の基本施策の満足度・重要度を数値化して比較する。
 ※たいへん満足・たいへん重要が2点、まあ満足・ある程度重要が1点、どちらともいえないが0点、やや不満・あまり重要でないが-1点、たいへん不満・全く重要でないが-2点として計算。(無回答は除外)

(1) まちづくりの満足度について(主要施策別)

① 主要施策別の満足度ランキング(上位)

順位	項目	満足度
1	ガス・水道の安定供給	0.69
2	健全な財政運営の推進	0.49
3	生活排水対策の推進	0.44
4	防犯・交通安全対策の推進	0.38
5	豊かな自然環境の保全と活用	0.37
6	防災体制の確立	0.34
7	幼児の教育・保育環境の充実	0.31
8	総合的な健康づくりの推進	0.31
9	子育て支援の充実	0.28
10	健やかな心と体の育成	0.25

- ・ 主要施策別の満足度の上位については「ガス・水道の安定供給」が最も満足度が高く、次いで「健全な財政運営の推進」、「生活排水対策の推進」、「防犯・交通安全対策の推進」、「豊かな自然環境の保全と活用」の順となっている。

② 主要施策別の満足度ランキング(下位)

順位	項目	満足度
1	商業の振興とにぎわいの創出	-0.75
2	企業誘致の促進と市内企業の活性化	-0.67
3	雇用・労働環境の充実	-0.66
4	観光基盤の整備	-0.31
5	地域公共交通の維持	-0.29
6	観光客受入体制の充実	-0.25
7	並行在来線の維持と活用	-0.24
8	農山村の保全と活用	-0.21
9	生業として成り立つ農業経営の推進	-0.21
10	効果的な観光情報の発信	-0.18

- ・ 下位については「商業の振興とにぎわいの創出」が最も満足度が低く、次いで「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「雇用・労働環境の充実」、「観光基盤の整備」、「地域公共交通の維持」の順となっている。

③ クロス集計（主要施策（満足度）×年代別）

■「主要施策（満足度）」×「年代」別のクロス集計結果（順位）

項 目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
四季を通じた観光誘客の推進	23	35	32	38	35	36	34
効果的な観光情報の発信	37	40	34	40	39	35	35
観光客受入体制の充実	33	40	41	38	40	41	38
観光基盤の整備	40	43	43	40	43	43	37
生業として成り立つ農業経営の推進	24	27	38	34	33	40	42
農山村の保全と活用	20	27	30	35	37	42	43
都市と農村の交流促進	25	20	39	35	33	37	41
企業誘致の促進と市内企業の活性化	43	44	44	44	44	46	45
商業の振興とにぎわいの創出	44	46	45	46	45	45	46
雇用・労働環境の充実	45	45	46	45	46	44	44
並行在来線の維持と活用	46	37	39	42	41	34	40
地域公共交通の維持	42	39	42	43	42	39	39
道路ネットワークの推進	38	8	16	29	32	21	32
移住・定住の推進	41	22	27	29	35	38	36
豊かな自然環境の保全と活用	1	1	2	6	7	7	18
資源循環のまちづくり	3	4	9	21	23	15	22
快適な生活環境の確保	26	4	7	10	29	28	12
良質な住環境づくり	21	3	16	15	26	13	10
克雪対策の推進	22	17	13	26	38	23	28
生活排水対策の推進	14	7	4	7	5	2	2
ガス・水道の安定供給	4	2	1	1	2	1	1
子育て支援の充実	9	12	15	2	16	8	16
幼児の教育・保育環境の充実	7	12	16	5	8	5	5
要保護児童等への適切な支援	10	27	22	21	16	9	21
健やかな心と体の育成	2	16	8	9	14	16	7
確かな学力の育成	11	35	23	27	21	26	20
学習環境の整備	16	27	19	19	18	24	14
総合的な健康づくりの推進	5	22	12	3	10	10	6
医療保険制度等の持続的運営	12	11	21	13	28	19	4
地域包括ケアシステムの充実	29	32	26	28	30	17	12
障がい者の社会参加促進	27	21	23	35	26	29	29
地域での助け合い、支え合いの推進	17	8	28	31	25	18	19
生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	39	38	37	33	31	31	33
防災体制の確立	8	14	6	8	4	6	9
防犯・交通安全対策の推進	6	10	3	10	3	4	8
学びの環境づくり	30	17	14	13	10	12	15
豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	18	15	11	18	10	20	26
生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	28	22	9	12	5	14	11
芸術文化の振興	31	42	19	16	8	24	17
歴史資産の保護と活用	34	32	28	21	20	21	24
地域コミュニティの維持・再生	35	22	23	21	18	11	25
情報共有の推進	36	32	35	21	22	33	27
人権意識の向上	19	22	30	16	13	27	31
男女共同参画社会の実現	15	17	33	20	14	30	30
持続可能な行政経営の推進	32	31	35	32	23	32	23
健全な財政運営の推進	13	6	5	4	1	3	3

- ・年代別にみると「ガス・水道の安定供給」が全ての年代で高い順位となっている。
- ・10歳代では「健やかな心と体の育成」、10歳代～30歳代では「豊かな自然環境の保全と活用」、「資源循環のまちづくり」、40歳代では「子育て支援の充実」、「総合的な健康づくりの推進」、50歳代～70歳以上では「健全な財政運営の推進」の順位が他の年代と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「雇用・労働環境の充実」、「商業の振興とにぎわいの創出」が全ての年代で低くなっている。

③ クロス集計（主要施策（満足度）×地域別）

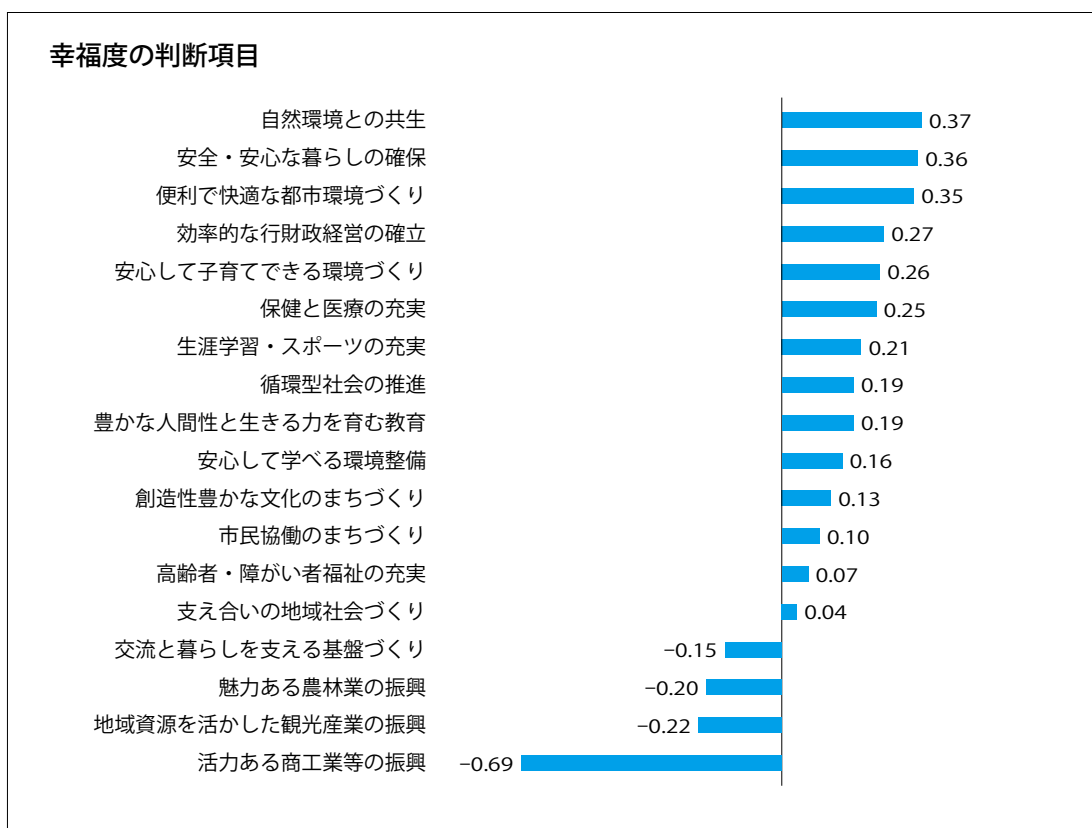
■「主要施策（満足度）」×「地域」別のクロス集計結果（順位）

項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
四季を通じた観光誘客の推進	35	41	27
効果的な観光情報の発信	37	37	34
観光客受入体制の充実	40	42	35
観光基盤の整備	43	40	42
生業として成り立つ農業経営の推進	41	34	37
農山村の保全と活用	39	35	40
都市と農村の交流促進	36	36	38
企業誘致の促進と市内企業の活性化	45	44	46
商業の振興とにぎわいの創出	46	45	45
雇用・労働環境の充実	44	46	44
並行在来線の維持と活用	38	43	39
地域公共交通の維持	42	38	42
道路ネットワークの推進	28	30	32
移住・定住の推進	34	39	41
豊かな自然環境の保全と活用	4	14	6
資源循環のまちづくり	11	15	24
快適な生活環境の確保	13	21	25
良質な住環境づくり	10	30	22
克雪対策の推進	31	26	18
生活排水対策の推進	3	11	2
ガス・水道の安定供給	1	1	1
子育て支援の充実	8	8	12
幼児の教育・保育環境の充実	6	9	9
要保護児童等への適切な支援	17	20	13
健やかな心と体の育成	12	5	9
確かな学力の育成	22	12	28
学習環境の整備	16	18	30
総合的な健康づくりの推進	9	6	3
医療保険制度等の持続的運営	19	7	15
地域包括ケアシステムの充実	27	22	19
障がい者の社会参加促進	32	30	30
地域での助け合い、支え合いの推進	25	12	16
生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	33	33	36
防災体制の確立	7	4	5
防犯・交通安全対策の推進	5	3	4
学びの環境づくり	15	18	11
豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	18	16	17
生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	14	10	8
芸術文化の振興	21	22	14
歴史資産の保護と活用	23	29	21
地域コミュニティの維持・再生	20	25	20
情報共有の推進	29	27	33
人権意識の向上	24	17	23
男女共同参画社会の実現	26	24	25
持続可能な行政経営の推進	30	28	29
健全な財政運営の推進	2	2	7

- ・地域別にみると「ガス・水道の安定供給」、「防犯・交通安全対策の推進」が全ての地域で高い順位となっている。
- ・新井地域、妙高地域で「生活排水対策の推進」の順位が高い一方で、妙高高原地域では低くなっている。
- ・妙高高原地域では「総合的な健康づくりの推進」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「雇用・労働環境の充実」、「商業の振興とにぎわいの創出」が全ての地域で低くなっている。

(2) まちづくりの満足度について（基本施策別）

① 基本施策別の満足度の比較



② 基本施策別の満足度ランキング

順位	項目	満足度
1	自然環境との共生	0.37
2	安全・安心な暮らしの確保	0.36
3	便利で快適な都市環境づくり	0.35
4	効率的な行財政経営の確立	0.27
5	安心して子育てできる環境づくり	0.26
6	保健と医療の充実	0.25
7	生涯学習・スポーツの充実	0.21
8	循環型社会の推進	0.19
9	豊かな人間性と生きる力を育む教育	0.19
10	安心して学べる環境整備	0.16
11	創造性豊かな文化のまちづくり	0.13
12	市民協働のまちづくり	0.10
13	高齢者・障がい者福祉の充実	0.07
14	支え合いの地域社会づくり	0.04
15	交流と暮らしを支える基盤づくり	-0.15
16	魅力ある農林業の振興	-0.20
17	地域資源を活かした観光産業の振興	-0.22
18	活力ある商工業等の振興	-0.69

- 基本施策別の満足度の上位については「自然環境との共生」が最も満足度が高く、次いで「安全・安心な暮らしの確保」、「便利で快適な都市環境づくり」の順となっている。
- 下位については「活力ある商工業等の振興」が最も満足度が低く、次いで「地域資源を活かした観光産業の振興」、「魅力ある農林業の振興」の順となっている。

③ クロス集計（基本施策（満足度）×年代別）

■「基本施策（満足度）」×「年代」別のクロス集計結果（順位）

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
地域資源を活かした観光産業の振興	16	17	17	17	17	16	15
魅力ある農林業の振興	10	10	16	16	15	17	17
活力ある商工業等の振興	18	18	18	18	18	18	18
交流と暮らしを支える基盤づくり	17	14	15	15	16	15	16
自然環境との共生	1	1	1	1	3	3	10
循環型社会の推進	6	2	4	7	12	11	9
便利で快適な都市環境づくり	7	3	3	3	10	1	1
安心して子育てできる環境づくり	5	6	9	4	5	4	5
豊かな人間性と生きる力を育む教育	2	12	6	9	9	8	6
安心して学べる環境整備	8	12	10	11	7	10	7
保健と医療の充実	4	7	6	2	11	6	2
高齢者・障がい者福祉の充実	14	15	12	14	14	12	12
支え合いの地域社会づくり	13	9	14	13	13	14	14
安全・安心な暮らしの確保	2	4	2	5	1	2	4
生涯学習・スポーツの充実	10	8	5	6	4	7	8
創造性豊かな文化のまちづくり	15	16	11	10	6	9	11
市民協働のまちづくり	12	11	13	12	7	13	13
効率的な行財政経営の確立	9	5	8	8	2	5	3

- ・年代別にみると「安全・安心な暮らしの確保」が全ての年代で高い順位となっている。
- ・10歳代では「豊かな人間性と生きる力を育む教育」の順位が他の年代と比べて高く、20歳代では「創造性豊かな文化のまちづくり」の順位が低くなっている。
- ・下位をみると「地域資源を活かした観光産業の振興」、「活力ある商工業等の振興」が全ての年代で低くなっている。

④ クロス集計（基本施策（満足度）×年代別）

■「基本施策（満足度）」×「地域」別のクロス集計結果（順位）

項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
地域資源を活かした観光産業の振興	16	17	15
魅力ある農林業の振興	17	15	16
活力ある商工業等の振興	18	18	18
交流と暮らしを支える基盤づくり	15	16	17
自然環境との共生	1	8	2
循環型社会の推進	6	10	13
便利で快適な都市環境づくり	2	4	4
安心して子育てできる環境づくり	5	6	6
豊かな人間性と生きる力を育む教育	10	5	9
安心して学べる環境整備	9	9	14
保健と医療の充実	7	3	3
高齢者・障がい者福祉の充実	13	13	10
支え合いの地域社会づくり	14	14	11
安全・安心な暮らしの確保	3	1	1
生涯学習・スポーツの充実	8	7	5
創造性豊かな文化のまちづくり	11	12	7
市民協働のまちづくり	12	11	12
効率的な行財政経営の確立	4	2	8

- ・地域別にみると「安全・安心な暮らしの確保」、「便利で快適な都市環境づくり」が全ての地域で高い順位となっている。
- ・新井地域、妙高地域で「自然環境との共生」の順位が高い一方で、妙高高原地域では低くなっている。
- ・新井地域では「保健と医療の充実」の順位が他の地域と比べて低くなっている。
- ・妙高高原地域では「豊かな人間性と生きる力を育む教育」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「活力ある商工業等の振興」が全ての地域で低くなっている。

(3) 今後のまちづくりの重要度について(主要施策別)

① 主要施策別の重要度ランキング(値1.00以上掲載)

順位	項目	満足度
1	克雪対策の推進	1.41
2	雇用・労働環境の充実	1.36
3	企業誘致の促進と市内企業の活性化	1.23
4	医療保険制度等の持続的運営	1.21
5	防災体制の確立	1.16
6	商業の振興とにぎわいの創出	1.15
7	子育て支援の充実	1.14
8	効果的な観光情報の発信	1.10
9	快適な生活環境の確保	1.10
10	四季を通じた観光誘客の推進	1.09
11	ガス・水道の安定供給	1.08
12	観光基盤の整備	1.08
13	幼児の教育・保育環境の充実	1.07
14	防犯・交通安全対策の推進	1.07
15	総合的な健康づくりの推進	1.06
16	観光客受入体制の充実	1.04
17	確かな学力の育成	1.04
18	健全な財政運営の推進	1.04
19	良質な住環境づくり	1.03
20	健やかな心と体の育成	1.02
21	豊かな自然環境の保全と活用	1.01
22	地域での助け合い、支え合いの推進	1.01
23	学習環境の整備	1.00
24	生活排水対策の推進	1.00

- 主要施策別の重要度の上位については「克雪対策の推進」が最も重要度が高く、次いで「雇用・労働環境の充実」、「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「医療保険制度等の持続的運営」、「防災体制の確立」の順となっている。

② クロス集計（主要施策(重要度)×年代別)

■「主要施策(重要度)」×「年代」別のクロス集計結果(順位)

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
四季を通じた観光誘客の推進	17	22	3	14	12	16	21
効果的な観光情報の発信	12	18	6	7	8	11	24
観光客受入体制の充実	19	8	8	22	13	23	29
観光基盤の整備	7	18	11	21	6	18	20
生業として成り立つ農業経営の推進	43	24	29	31	29	36	35
農山村の保全と活用	37	22	35	36	35	40	37
都市と農村の交流促進	38	31	33	42	41	45	41
企業誘致の促進と市内企業の活性化	26	4	11	10	3	3	5
商業の振興とにぎわいの創出	20	1	7	20	4	7	14
雇用・労働環境の充実	8	1	1	1	2	1	2
並行在来線の維持と活用	30	20	27	16	7	30	30
地域公共交通の維持	41	24	25	10	10	29	19
道路ネットワークの推進	33	24	32	32	19	37	32
移住・定住の推進	25	32	24	33	30	33	26
豊かな自然環境の保全と活用	13	32	27	27	17	13	9
資源循環のまちづくり	31	29	37	28	36	32	25
快適な生活環境の確保	11	10	11	3	8	21	14
良質な住環境づくり	6	13	16	10	14	25	22
克雪対策の推進	2	3	2	2	1	2	1
生活排水対策の推進	23	40	22	24	31	12	8
ガス・水道の安定供給	14	38	17	6	15	14	4
子育て支援の充実	1	8	4	9	16	6	14
幼児の教育・保育環境の充実	15	11	4	15	27	9	18
要保護児童等への適切な支援	16	17	9	29	24	22	26
健やかな心と体の育成	3	11	17	23	32	17	11
確かな学力の育成	9	5	17	16	26	20	12
学習環境の整備	10	16	17	16	23	24	26
総合的な健康づくりの推進	21	13	30	16	19	10	6
医療保険制度等の持続的運営	22	6	15	7	5	4	3
地域包括ケアシステムの充実	28	35	33	30	21	27	31
障がい者の社会参加促進	24	20	26	36	28	26	34
地域での助け合い、支え合いの推進	27	24	21	25	17	15	17
生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	29	30	40	35	34	31	33
防災体制の確立	5	7	14	4	11	5	7
防犯・交通安全対策の推進	4	13	10	10	22	19	10
学びの環境づくり	18	38	37	33	37	34	36
豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	32	35	42	39	41	35	39
生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	39	40	39	36	40	46	40
芸術文化の振興	46	46	45	44	46	42	45
歴史資産の保護と活用	44	44	44	45	45	39	42
地域コミュニティの維持・再生	45	44	43	41	38	37	37
情報共有の推進	42	40	45	43	44	43	46
人権意識の向上	36	40	36	40	41	44	44
男女共同参画社会の実現	35	35	40	45	39	41	43
持続可能な行政経営の推進	40	32	31	26	33	28	23
健全な財政運営の推進	34	24	23	5	24	8	13

- ・年代別にみると「克雪対策の推進」が全ての年代で高い順位となっている。
- ・10歳代では「子育て支援の充実」、「健やかな心と体の育成」、20歳代、50歳代では「商業の振興とにぎわいの創出」、30歳代では「四季を通じた観光誘客の推進」、40歳代では「快適な生活環境の確保」、50歳代～70歳以上では「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「医療保険制度等の持続的運営」の順位が他の年代と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「芸術文化の振興」、「歴史資産の保護と活用」が全ての年代で低くなっている。

④ クロス集計（主要施策(重要度)×地域別)

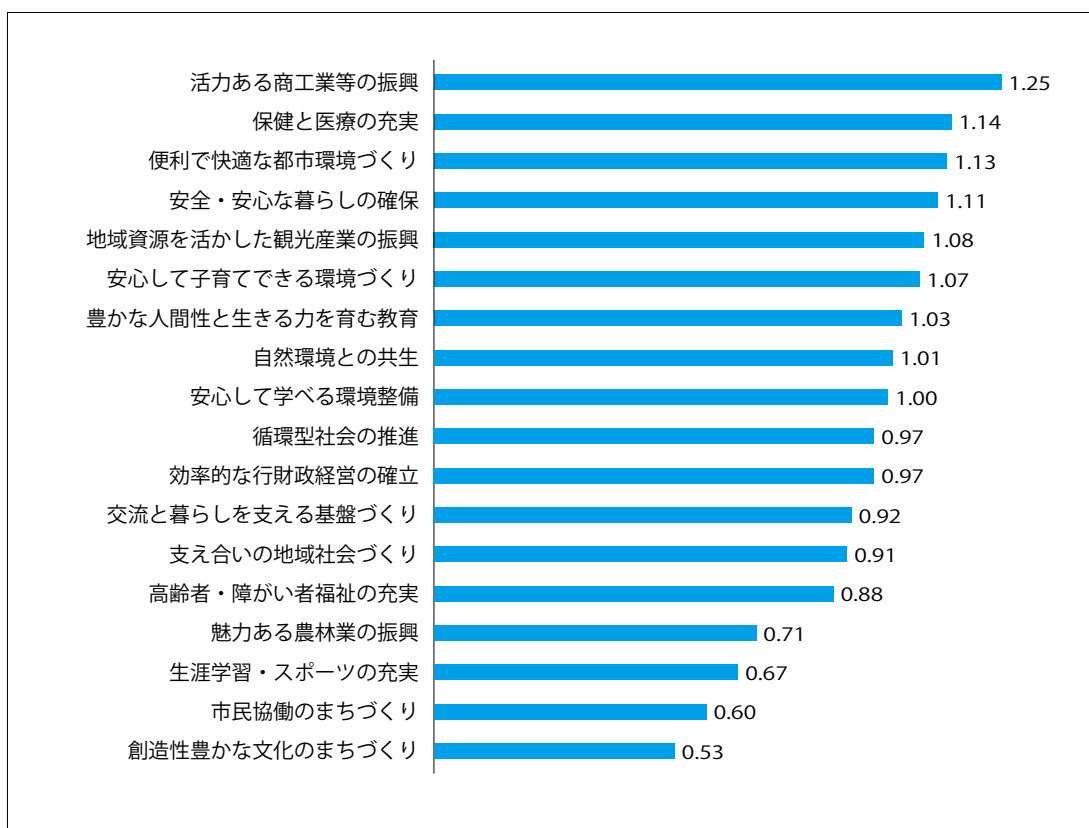
■「主要施策(重要度)」×「地域」別のクロス集計結果(順位)

項 目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
四季を通じた観光誘客の推進	14	3	6
効果的な観光情報の発信	10	6	6
観光客受入体制の充実	21	13	14
観光基盤の整備	13	4	23
生業として成り立つ農業経営の推進	33	37	43
農山村の保全と活用	36	40	45
都市と農村の交流促進	38	44	46
企業誘致の促進と市内企業の活性化	3	26	11
商業の振興とにぎわいの創出	4	28	20
雇用・労働環境の充実	2	11	2
並行在来線の維持と活用	24	29	26
地域公共交通の維持	20	23	30
道路ネットワークの推進	31	32	36
移住・定住の推進	32	33	27
豊かな自然環境の保全と活用	27	8	11
資源循環のまちづくり	34	25	30
快適な生活環境の確保	9	2	17
良質な住環境づくり	19	15	23
克雪対策の推進	1	1	1
生活排水対策の推進	26	12	23
ガス・水道の安定供給	12	4	20
子育て支援の充実	6	14	10
幼児の教育・保育環境の充実	8	19	14
要保護児童等への適切な支援	25	21	19
健やかな心と体の育成	23	17	6
確かな学力の育成	15	20	9
学習環境の整備	22	24	20
総合的な健康づくりの推進	17	10	5
医療保険制度等の持続的運営	5	7	3
地域包括ケアシステムの充実	30	26	27
障がい者の社会参加促進	29	33	35
地域での助け合い、支え合いの推進	18	22	18
生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	35	30	36
防災体制の確立	7	8	4
防犯・交通安全対策の推進	11	16	11
学びの環境づくり	37	35	32
豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	39	35	34
生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	41	43	36
芸術文化の振興	46	46	39
歴史資産の保護と活用	45	45	33
地域コミュニティの維持・再生	40	38	42
情報共有の推進	44	39	44
人権意識の向上	42	41	40
男女共同参画社会の実現	43	41	40
持続可能な行政経営の推進	28	30	29
健全な財政運営の推進	18	17	16

- ・地域別にみると「克雪対策の推進」が全ての地域で高い順位となっている。
- ・新井地域、妙高地域で「雇用・労働環境の充実」の順位が高い一方で、妙高高原地域では他の地域と比べて低くなっている。
- ・新井地域では「企業誘致の促進と市内企業の活性化」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・妙高高原地域では「快適な生活環境の確保」、「四季を通じた観光誘客の推進」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・下位をみると、新井地域、妙高高原地域では「芸術文化の振興」、「歴史資産の保護と活用」の順位が低くっており、妙高地域では「都市と農村の交流促進」、「農山村の保全と活用」が低くなっている。

(4) 今後のまちづくりの重要度について（基本施策別）

① 基本施策別の重要度の比較



② 基本施策別の重要度ランキング

順位	項目	重要度
1	活力ある商工業等の振興	1.25
2	保健と医療の充実	1.14
3	便利で快適な都市環境づくり	1.13
4	安全・安心な暮らしの確保	1.11
5	地域資源を活かした観光産業の振興	1.08
6	安心して子育てできる環境づくり	1.07
7	豊かな人間性と生きる力を育む教育	1.03
8	自然環境との共生	1.01
9	安心して学べる環境整備	1.00
10	循環型社会の推進	0.97
11	効率的な行財政経営の確立	0.97
12	交流と暮らしを支える基盤づくり	0.92
13	支え合いの地域社会づくり	0.91
14	高齢者・障がい者福祉の充実	0.88
15	魅力ある農林業の振興	0.71
16	生涯学習・スポーツの充実	0.67
17	市民協働のまちづくり	0.60
18	創造性豊かな文化のまちづくり	0.53

- ・基本施策別の重要度の上位については「活力ある商工業等の振興」が最も重要度が高く、次いで「保険と医療の充実」、「便利で快適な都市環境づくり」の順となっている。
- ・下位については「創造性豊かな文化のまちづくり」が最も重要度が低く、次いで「市民協働のまちづくり」、「生涯学習・スポーツの充実」の順となっている。

③ クロス集計（基本施策(重要度)×年代別)

■「基本施策(重要度)」×「年代」別のクロス集計結果(順位)

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
地域資源を活かした観光産業の振興	6	7	3	5	2	7	10
魅力ある農林業の振興	16	11	15	15	15	16	15
活力ある商工業等の振興	7	1	1	1	1	1	3
交流と暮らしを支える基盤づくり	14	10	10	12	6	14	12
自然環境との共生	8	15	12	11	7	6	5
循環型社会の推進	9	8	9	5	10	13	8
便利で快適な都市環境づくり	4	9	5	3	3	4	1
安心して子育てできる環境づくり	3	5	1	9	9	5	9
豊かな人間性と生きる力を育む教育	2	2	6	10	13	8	6
安心して学べる環境整備	4	6	6	7	8	10	11
保健と医療の充実	9	3	8	4	4	2	2
高齢者・障がい者福祉の充実	11	12	13	14	11	12	14
支え合いの地域社会づくり	12	12	14	13	12	11	13
安全・安心な暮らしの確保	1	4	4	2	5	3	4
生涯学習・スポーツの充実	13	16	16	16	16	15	16
創造性豊かな文化のまちづくり	18	18	18	18	18	17	18
市民協働のまちづくり	17	17	17	17	17	18	17
効率的な行財政経営の確立	15	14	11	8	13	9	7

- ・年代別にみると「活力ある商工業等の振興」が10歳代以外の年代で高い順位となっている。
- ・10歳代、20歳代では「豊かな人間性と生きる力を育む教育」、30歳代では「安心して子育てできる環境づくり」の順位が他の年代と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「創造性豊かな文化のまちづくり」、「市民協働のまちづくり」が全ての年代で低くなっている。

④ クロス集計（基本施策(重要度)×地域別)

■「基本施策(重要度)」×「地域」別のクロス集計結果(順位)

項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
地域資源を活かした観光産業の振興	6	2	7
魅力ある農林業の振興	15	17	18
活力ある商工業等の振興	1	9	2
交流と暮らしを支える基盤づくり	12	13	13
自然環境との共生	9	3	6
循環型社会の推進	11	6	11
便利で快適な都市環境づくり	3	1	5
安心して子育てできる環境づくり	5	7	8
豊かな人間性と生きる力を育む教育	7	8	4
安心して学べる環境整備	8	11	9
保健と医療の充実	2	4	1
高齢者・障がい者福祉の充実	14	14	14
支え合いの地域社会づくり	13	12	12
安全・安心な暮らしの確保	4	5	3
生涯学習・スポーツの充実	16	15	15
創造性豊かな文化のまちづくり	18	18	16
市民協働のまちづくり	17	16	17
効率的な行財政経営の確立	10	10	10

- ・地域別にみると、新井地域、妙高地域で「活力ある商工業等の振興」の順位が高い一方で、妙高高原地域では他の地域と比べて低くなっている。
- ・妙高高原地域では「地域資源を活かした観光産業の振興」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「創造性豊かな文化のまちづくり」、「市民協働のまちづくり」が全ての地域で低くなっている。

(5) 満足度と重要度の一覧表

① 主要施策別

項目	満足度		重要度		
	平均値	順位	平均値	順位	
1	四季を通じた観光誘客の推進	-0.13	35	1.09	10
2	効果的な観光情報の発信	-0.18	37	1.10	8
3	観光客受入体制の充実	-0.25	41	1.04	16
4	観光基盤の整備	-0.31	43	1.08	12
5	生業として成り立つ農業経営の推進	-0.21	38	0.80	35
6	農山村の保全と活用	-0.21	39	0.71	37
7	都市と農村の交流促進	-0.17	36	0.62	40
8	企業誘致の促進と市内企業の活性化	-0.67	45	1.23	3
9	商業の振興とにぎわいの創出	-0.75	46	1.15	6
10	雇用・労働環境の充実	-0.66	44	1.36	2
11	並行在来線の維持と活用	-0.24	40	0.97	27
12	地域公共交通の維持	-0.29	42	0.99	25
13	道路ネットワークの推進	0.06	29	0.84	33
14	移住・定住の推進	-0.13	34	0.86	31
15	豊かな自然環境の保全と活用	0.37	5	1.01	21
16	資源循環のまちづくり	0.21	13	0.85	32
17	快適な生活環境の確保	0.18	18	1.10	9
18	良質な住環境づくり	0.20	14	1.03	19
19	克雪対策の推進	0.07	28	1.41	1
20	生活排水対策の推進	0.44	3	1.00	24
21	ガス・水道の安定供給	0.69	1	1.08	11
22	子育て支援の充実	0.28	9	1.14	7
23	幼児の教育・保育環境の充実	0.31	7	1.07	13
24	要保護児童等への適切な支援	0.19	15	0.99	26
25	健やかな心と体の育成	0.25	10	1.02	20
26	確かな学力の育成	0.13	22	1.04	17
27	学習環境の整備	0.16	19	1.00	23
28	総合的な健康づくりの推進	0.31	8	1.06	15
29	医療保険制度等の持続的運営	0.19	16	1.21	4
30	地域包括ケアシステムの充実	0.11	26	0.89	29
31	障がい者の社会参加促進	0.04	32	0.87	30
32	地域での助け合い、支え合いの推進	0.13	23	1.01	22
33	生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	-0.04	33	0.81	34
34	防災体制の確立	0.34	6	1.16	5
35	防犯・交通安全対策の推進	0.38	4	1.07	14
36	学びの環境づくり	0.21	12	0.73	36
37	豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	0.18	17	0.67	38
38	生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	0.23	11	0.61	41
39	芸術文化の振興	0.15	21	0.51	46
40	歴史資産の保護と活用	0.11	25	0.55	44
41	地域コミュニティの維持・再生	0.15	20	0.63	39
42	情報共有の推進	0.06	30	0.55	45
43	人権意識の向上	0.12	24	0.60	42
44	男女共同参画社会の実現	0.10	27	0.60	43
45	持続可能な行政経営の推進	0.05	31	0.90	28
46	健全な財政運営の推進	0.49	2	1.04	18

② 基本施策別

項 目		満足度		重要度	
		平均値	順位	平均値	順位
1	地域資源を活かした観光産業の振興	-0.22	17	1.08	5
2	魅力ある農林業の振興	-0.20	16	0.71	15
3	活力ある商工業等の振興	-0.69	18	1.25	1
4	交流と暮らしを支える基盤づくり	-0.15	15	0.92	12
5	自然環境との共生	0.37	1	1.01	8
6	循環型社会の推進	0.19	8	0.97	10
7	便利で快適な都市環境づくり	0.35	3	1.13	3
8	安心して子育てできる環境づくり	0.26	5	1.07	6
9	豊かな人間性と生きる力を育む教育	0.19	9	1.03	7
10	安心して学べる環境整備	0.16	10	1.00	9
11	保健と医療の充実	0.25	6	1.14	2
12	高齢者・障がい者福祉の充実	0.07	13	0.88	14
13	支え合いの地域社会づくり	0.04	14	0.91	13
14	安全・安心な暮らしの確保	0.36	2	1.11	4
15	生涯学習・スポーツの充実	0.21	7	0.67	16
16	創造性豊かな文化のまちづくり	0.13	11	0.53	18
17	市民協働のまちづくり	0.10	12	0.60	17
18	効率的な行財政経営の確立	0.27	4	0.97	11

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

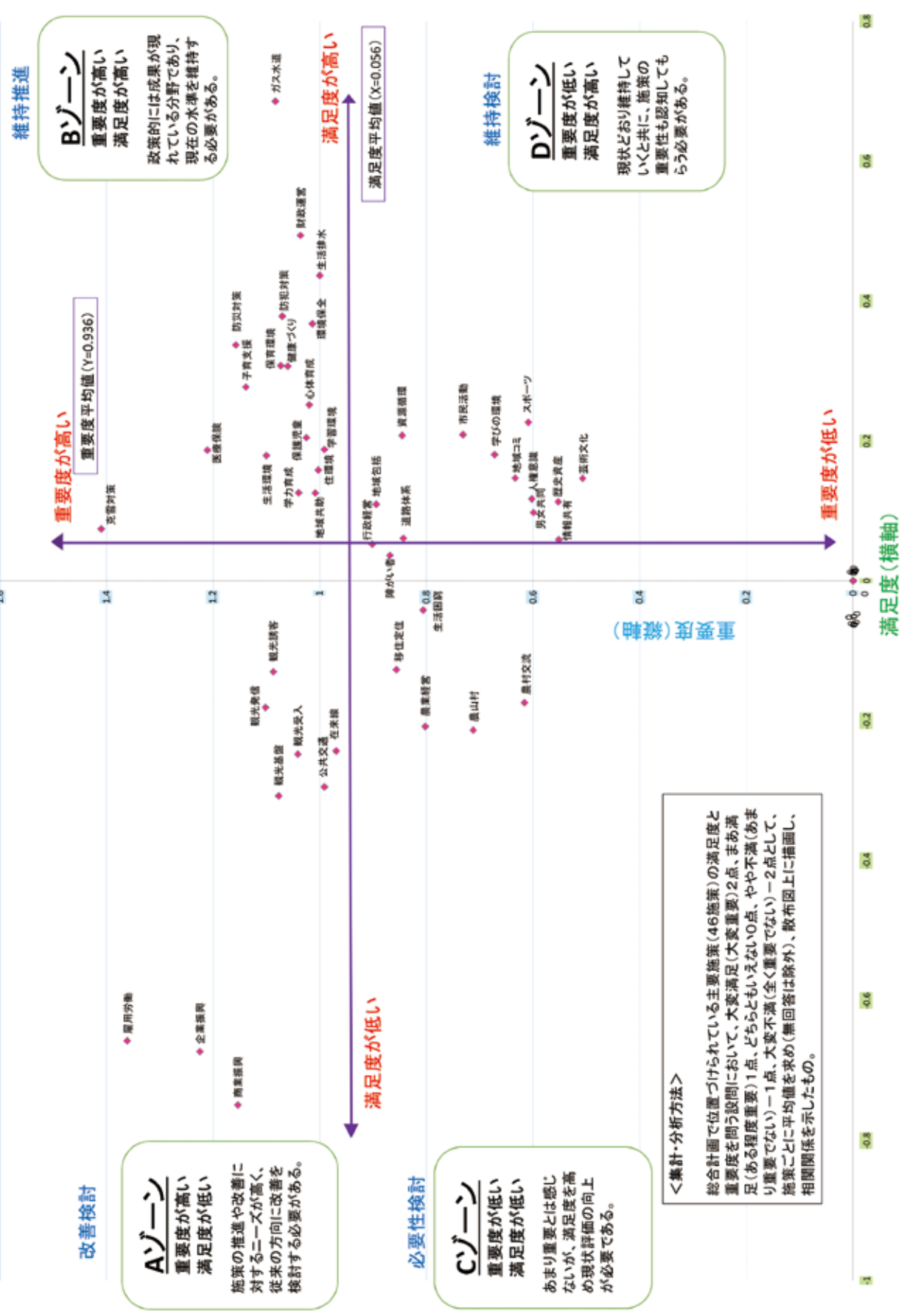
第7章

第8章

資料編

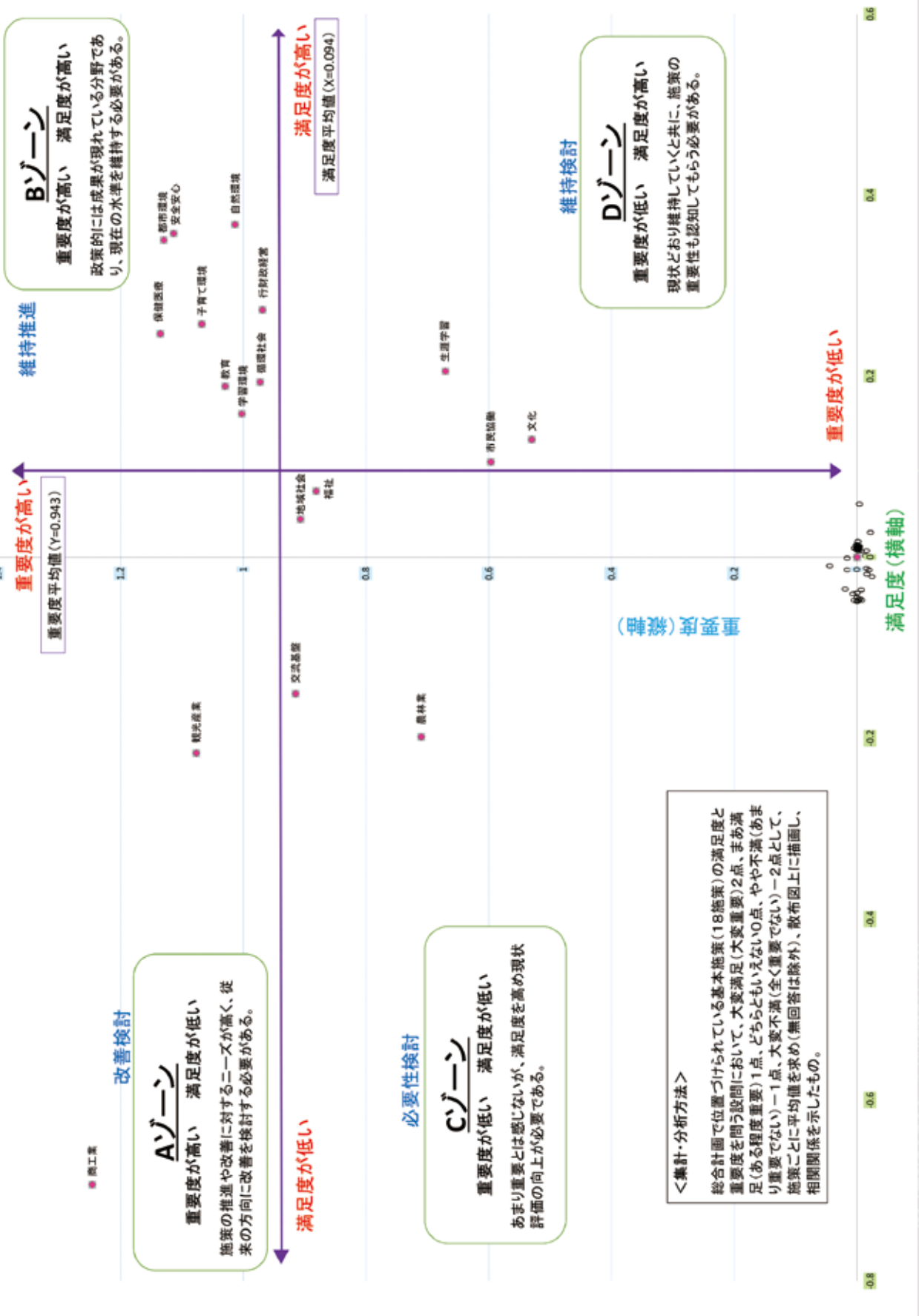
(6)ポータルフォリオ分析(主要施策別)

平成30年度 妙高市まちづくり市民意識調査 主要施策別 重要度と満足度の相関散布図【ポータルフォリオ分析表】

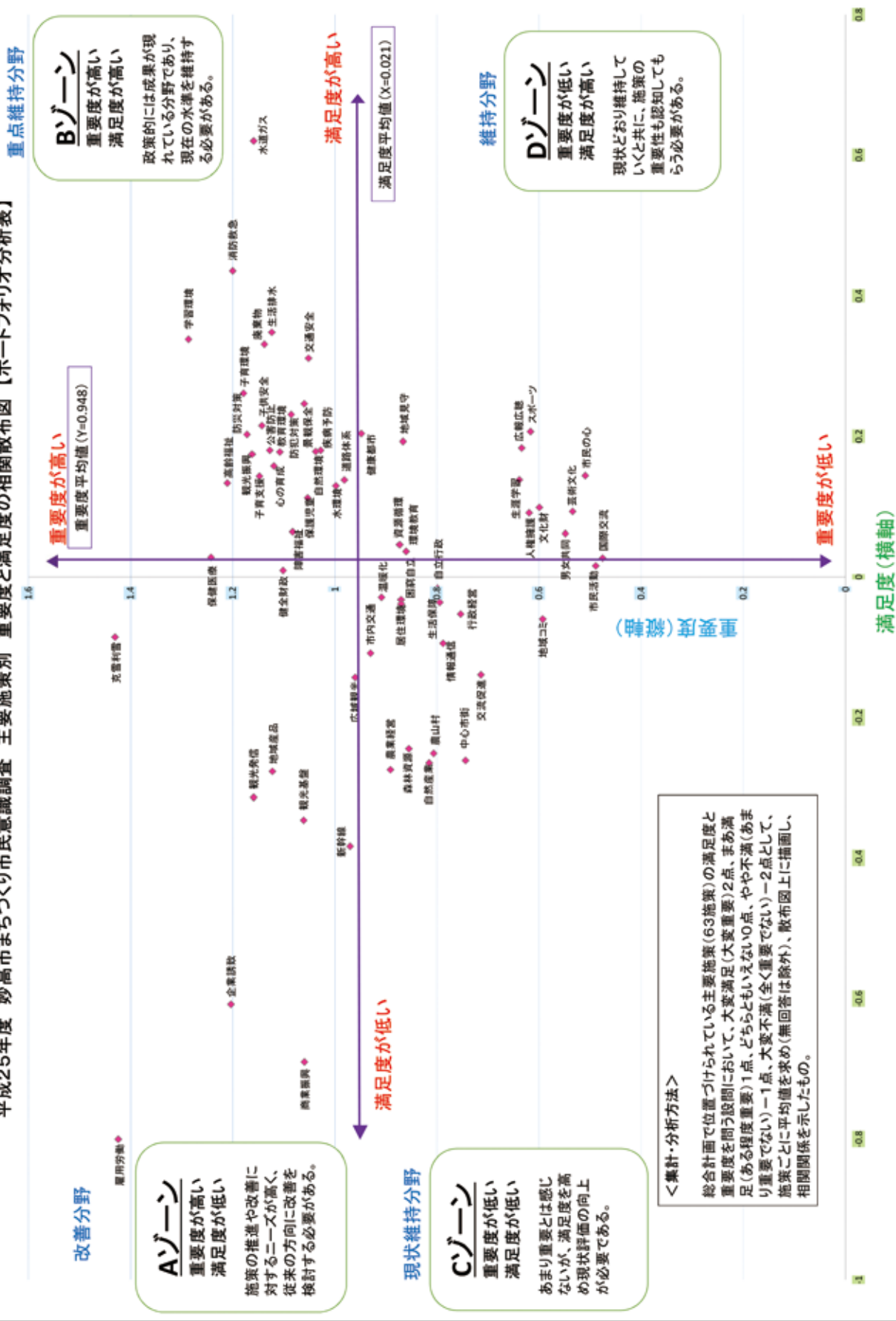


ポートフォリオ分析(基本施策別)

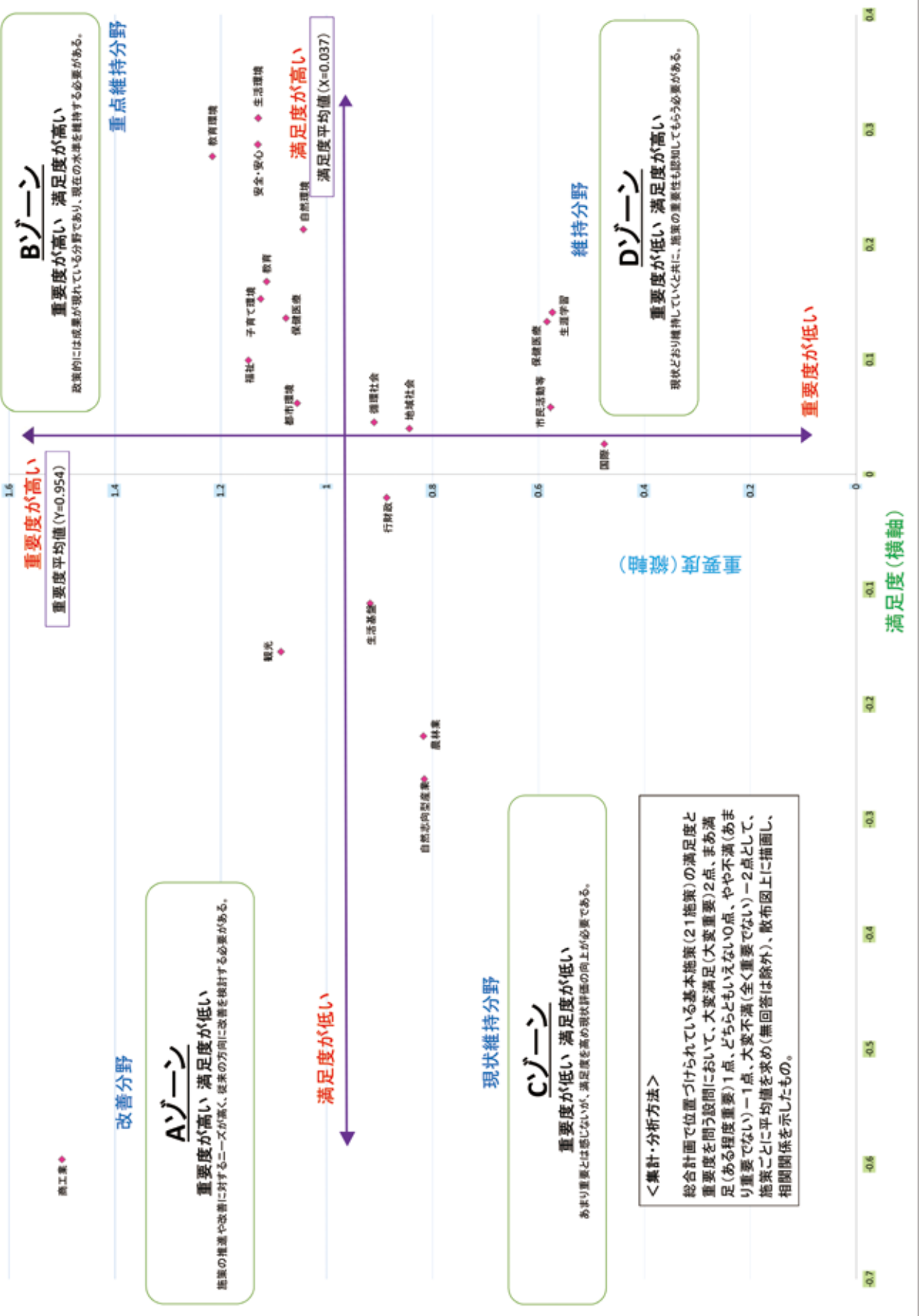
平成30年度 妙高市まちづくり市民意識調査 基本施策別 重要度と満足度の相関散布図【ポートフォリオ分析表】



平成25年度 妙高市まちづくり市民意識調査 主要施策別 重要度と満足度の相関散布図【ポートフォリオ分析表】



平成25年度 妙高市まちづくり市民意識調査 基本施策別 重要度と満足度の相関散布図【ポートフォリオ分析表】





施策の目標値の設定根拠

【まちづくりの大綱1】快適で安全・安心に暮らせるまちづくり

■ コンパクトなまちづくりの推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
都市機能・居住誘導区域内の人口密度	都市機能や居住の誘導を図る区域の人口密度	居住誘導区域内の住基人口÷居住誘導区域面積	24.3人/ha (H27国勢調査)	24.3人/ha	24.3人/ha	24.3人/ha	24.3人/ha	24.3人/ha	現況値以上を目標とする(現況値) 9,734人÷400.5ha=24.3人/ha

① 市街地への都市機能と居住人口の誘導

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
都市機能施設の誘導件数	都市機能施設(統合園、図書館、子育て支援施設、商業施設等)の誘導件数	①統合園 ②図書館 ③子育て支援施設 ④商業施設	—	0件	0件	1件	1件	4件	①統合園 ②図書館 ③子育て支援施設 ④商業施設
中心市街地の歩行者・二輪車交通量	上町、中町、下町、栄町、朝日町の歩行者と二輪車の交通量	街なかの歩行者・二輪車交通量調査	907人/日	907人/日	907人/日	950人/日	950人/日	1,100人/日	統合園立地等により+50人/日 図書館等の立地により+150人/日

② 市民生活を維持するための公共交通の確保

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
えちごトキめき鉄道市内4駅における1日あたりの平均乗車人員	1日あたりの平均乗車人員(予測される減少を抑制)	年間乗車人数÷365日	1,654人	1,640人	1,630人	1,620人	1,610人	1,600人 (予測値は1,582人)	利用者数は減少が見込まれるが、落ち込みを抑制したい(H27-30:△4.3%→3%に抑制)
市営バス・コミュニティバスの1日あたりの平均乗車人員	1日あたりの平均乗車人員(予測される減少を抑制)	年間乗車人数÷365日	267人	265人	264人	262人	261人	259人 (予測値は251人)	利用者数は減少が見込まれるが、落ち込みを抑制したい(H26-30:△6%→3%に抑制)

■ スマートシティ妙高の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
スマートシティの推進によって生活の利便性が高まったと感じる市民の割合	市民意識調査における回答の割合	R5年度に実施する「まちづくり市民意識調査」による	—	—	—	—	60.0%	60.0%	60%以上を目標とする

① ICTを活用した市民生活の利便性向上

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
ICTが活用された住民サービス事業数	市が進める住民サービスでICTが活用された事業数	ICTを活用した事業の累計	—	2事業	4事業	6事業	8事業	10事業	年間2事業の活用増を目指す

② スマートシティの推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
ICTの導入による業務削減時間数	計画期間内に市役所において、ICTの導入により削減された業務時間数	ICT等の導入により、削減された業務時間の累計	—	1,000時間	1,200時間	1,500時間	1,800時間	2,000時間	2,000時間以上の削減を目指す

■ 道路ネットワークの強化

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市道整備率	市道延長に対し整備した市道の割合	整備計画延長÷市道総延長	57.0%	57.2%	57.3%	57.4%	57.5%	57.6%	(整備済延長:401,800m+整備計画延長:800m×6年)÷市道実延長:705,300m 市道整備計画延長は800m/年を基本とする

① 幹線道路の整備促進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
国道292号整備率(道路改良)	国道292号改良計画延長に対し整備した割合	整備完了延長÷改良計画延長	12.8%	18.9%	18.9%	57.7%	57.7%	57.7%	(2018年まで整備延長第2工区:500m+第1工区:960m+第3工区:800m)÷整備計画総延長:3,914m

② 生活道路網の計画的な整備と適正な維持管理

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
橋梁修繕率	修繕必要橋梁数に対し修繕した橋梁の割合	修繕計画橋梁数÷修繕必要橋梁数	19.4% (31/160)	22.5% (36/160)	23.8% (38/160)	25.0% (40/160)	26.3% (42/160)	27.5% (44/160)	修繕計画橋梁数:44橋÷修繕必要橋梁数:160橋

■ 雪に強いまちづくりの推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
克雪対策に関する施策の満足度	市民意識調査における回答の割合	R5年度に実施する「まちづくり市民意識調査」による	39.1%	—	—	—	50.0%	50.0%	満足度が「どちらとも言えない」と回答している市民層(30.4%)の満足度向上を目指す

① 持続可能な除雪体制の構築

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
道路除雪満足度	除雪支部長アンケート調査の結果による道路除雪の満足度(過去3力年平均)	道路除雪全般について「良好・ほぼ良好」と回答する割合	80.3%	80.3%	80.3%	80.3%	80.3%	80.3%	道路除雪全般について「良好・ほぼ良好」と回答する割合

② 克雪施設の長寿命化と計画的な施設整備

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
消雪パイプ更新施設数	計画期間内に更新した消雪パイプ施設数	計画期間内での整備数	—	2施設	4施設	6施設	8施設	10施設	計画期間内に10施設の整備を目指す
流雪溝新規整備路線数	計画期間内に整備した流雪溝の路線数	計画期間内での整備数	—	4路線	6路線	7路線	8路線	9路線	計画期間内に9路線の整備を目指す

③ 豪雪地での良好な居住環境づくり

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
住宅の克雪化数	計画期間内に新たに克雪化した住宅数	既存住宅の克雪化件数	—	5戸	10戸	15戸	20戸	25戸	単年度当たり5件の克雪化を目標とする

■ 安全で安定したガス上下水道の維持

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
ガス上下水道事業の経常収支比率	事業収益で費用をどの程度まかなえているかを示し、100以上が黒字で健全経営となるもの	経常収益/経常費用×100	ガス事業 110 水道事業 129 下水道事業 131 集落排水事業 113	全ての公営企業会計で100%以上	全ての公営企業会計で100%以上	全ての公営企業会計で100%以上	全ての公営企業会計で100%以上	全ての公営企業会計で100%以上	単年度収支で赤字にならないよう健全経営を維持することを目標とする

① 施設等の計画的な更新と効率的な運用

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
浄水場の耐震化率	水道事業における浄水場の耐震化率	耐震化された浄水場の配水能力/全浄水場の配水能力×100(簡易水道を除く)	58.0%	58.0%	58.0%	58.0%	58.0%	100%	杉野沢浄水場の改築完了
下水道処理場数	下水道処理場の数	①新井浄化センター②赤倉浄化センター③池の平浄化センター④妙高アクアクリンセンター⑤斐太クリンセンター⑥妙高浄化センター	6施設	5施設	5施設	5施設	4施設	4施設	赤倉浄化センターと池の平浄化センターの統合 ※斐太クリンセンターはR1で廃止済

② 新たな事業運営の検討

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
新たな事業運営手法の導入事業数	官民連携手法等を導入した事業(ガス、水道、簡易水道、下水道)の数	官民連携手法等を導入した事業(ガス、水道、簡易水道、下水道)の数	—	0事業	0事業	4事業	4事業	4事業	ガス、水道、簡易水道、下水道の4事業における導入を目標とする

■ 防災体制の確立

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
自主防災組織の実践的 防災訓練の実施率	自主防災組織において 防災訓練を実施した割合	防災訓練実施自主防災 組織数÷自主防災組合 数	76.2%	80.0%	85.0%	90.0%	95.0%	100%	全組織での訓練実施を目標とする

① 地域の災害対応力の向上

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
個人・家庭(自助)の防災力の向上	防災研修会等に参加した延べ人数	防災研修会等に参加した延べ人数(累計)	300人	900人	1,200人	1,500人	1,800人	2,100人	現況値から年300人増を目標とする
地域(共助)の防災力の向上	災害対応力診断チェック表による災害対応力が向上した組織の割合	現況値より災害対応力ポイントが向上した自主防災組織÷自主防災組織数(126団体)	—	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%	80.0%	自主防災組織による防災訓練実施率(現況値76.2%)を参考とし、80%を目標とした

② 消防力の確保と防災教育の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
消防団の充足率	定数に対する団員数の割合	定数人に対する団員数の割合	94.3%	95.0%	96.0%	97.0%	98.0%	100%	自警消防団の消防団への編入や特別消防団員を充足することで定員確保を目指す

■ 安全な市民生活の確保

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
安全な市民生活の確保に関する施策の満足度	市民意識調査における回答の割合	R5年度に実施する「まちづくり市民意識調査」による	40.3%	—	—	—	60.0%	60.0%	H30アンケートで「どちらでもない」と回答した市民54%のうち20%を「満足」に押し上げる

① 防犯力・防犯意識の向上

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
刑法犯罪発件数	刑法犯罪の年間発件数	新潟県警統計資料より(認知件数)	152件	145件	140件	135件	130件	125件	前年比△5件を目指す

② 交通安全意識の高揚と安全対策の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
交通事故発件数	人身事故の年間発件数	新潟県警統計資料より(人身事故発件数)	31件	27件	24件	21件	18件	15件	前年比△3件を目指す

③ 空き家等の適正管理

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
管理不全な特定空き家等の解体・改修数	解体・改修された特定空き家等の実数(年間)	解体・改修された特定空き家の実数(年間4戸)	4戸	4戸	4戸	4戸	4戸	4戸	現況値ベースの堅持を目標とする

④ 鳥獣対策の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
イノシシ、ニホンジカの捕獲数	イノシシ、ニホンジカの年間捕獲数	現況値に10頭/年の捕獲数増加	150頭	200頭	210頭	220頭	230頭	240頭	鳥獣被害防止計画においてR2に200頭の捕獲を目標としており、R3以降は10頭/年増を目標とする
有害鳥獣による農作物被害額	有害鳥獣により被害を受けた農作物の被害額	畑作物は市への被害報告、水稲はNOSAI上越の共済金支払明細を参考として算出	1,154千円	1,154千円	1,154千円	1,154千円	1,154千円	1,154千円	現況値を超えないことを目標とする

【まちづくりの大綱2】美しい自然と共に生きるまちづくり

■ 自然環境の保全と活用

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
ライチョウ確認数	頸城山塊に生息するライチョウの確認数	新潟ライチョウ研究会調べのライチョウ確認数	12羽	14羽	16羽	18羽	20羽	23羽	過去最大の確認数に増加させることを目標とする
国立公園妙高利用者数	自然公園等利用者数調べによる妙高市域の利用者数	観光動態調査のうち国立公園関連項目の合算	1,660千人	1,676千人	1,692千人	1,708千人	1,725千人	1,743千人	現況値から5%増加を目標とする

① 生物多様性の保全とライチョウの保護

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
環境サポーターズ登録者数	環境会議で募集している環境ボランティア登録者数	登録者の実数	67人	87人	107人	127人	147人	170人	20人/年の増加を目標とする

② 国立公園をはじめとする希少な自然資源の磨き上げ

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
入域料協力金額	入域料に協力いただいた金額	協力金額の実数 ※H30:20日間、R2以降123日間	1,460千円	4,300千円	4,350千円	4,400千円	4,450千円	4,500千円	毎年約1%増を目標とする

③ 里山の保全と活用

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
森林整備面積	市内にある、民有林、分収林の森林整備面積	1年間の森林整備面積を40haとする	282ha	362ha	402ha	442ha	482ha	522ha	過去5年間の実績から、40ha/年を目標とする
里山保全団体	国の森林・山村多面的機能発揮対策事業への取組団体	事業への取組団体数	3団体	3団体	3団体	4団体	4団体	5団体	過去の実績から、5年で2団体増を目標とする

④ 快適な生活環境の確保

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
河川におけるBOD75%基準値の達成度(%)	県・市が行う市内11箇所の水質測定の実績達成率	測定結果の集計による	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%の維持を目指す

■ 地球温暖化対策の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
妙高市温室効果ガス排出量	妙高市の温室効果ガスの約98%を占める二酸化炭素の量(当該年度に把握できる数値)	県のデータをもとに各項目ごとに按分した数値の合算	313千t (H27)	304千t (H29)	298千t (H30)	292千t (R1)	286千t (R2)	280千t (R3)	第2次妙高市地球温暖化対策地域推進計画により、約6千t/年削減を目標とする

① 環境にやさしいライフスタイルの普及

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
レジ袋の有料化・マイバック持参による割引等実施店舗数	市内商工会議所・商工会加盟店舗における実施店舗数	実施店舗の実数	—	4店舗	8店舗	12店舗	16店舗	20店舗	4店舗/年の増加を目標とする
参加型体験イベント年間開催回数	温暖化防止に係る体験イベントの回数	イベントの実数	—	3回	3回	3回	4回	4回	想定するイベントとして、4回を目標とする

② 再生可能エネルギー等の利用促進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
公共施設における再生可能エネルギー導入件数	市内公共施設における導入件数	導入施設の実数	8件	9件	10件	10件	11件	12件	想定される導入施設数として、4件増を目標とする

■ 資源循環のまちづくりの推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
ごみ排出総量	市内から発生する廃棄物の総量	廃棄物の総量の実績	14,761 t /年	13,551 t /年	13,504 t /年	13,301 t /年	13,170 t /年	13,047 t /年	(家庭系排出予測値×人口予測値×年間日数) + (事業系排出予測値×年間日数)
可燃ごみ焼却処理量	市内から発生する廃棄物のうち焼却処理された量	可燃ごみ焼却処理量の実績	9,892 t /年	9,075 t /年	8,961 t /年	8,848 t /年	8,744 t /年	8,639 t /年	H26年度比13.0%削減(家庭系21%、事業系3%)を目標とする

① ごみの減量化・資源化の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
家庭系可燃ごみ1人1日あたり排出量	家庭から発生した燃えるごみの1人1日あたり排出量	家庭系可燃ごみ/人口の実績	467g	430g	426g	422g	418g	414g	H26年度比40g減量を目標とする
事業系可燃ごみ1日あたり排出量	事業所から発生した燃えるごみの1日あたり排出量	事業系可燃ごみ/365日の実績	11,893kg	11,200kg	11,200kg	11,100kg	11,100kg	11,100kg	H26年度比0.4t減量を目標とする
資源化率	一般廃棄物の総量の内資源化された量の割合	資源化された量/一般廃棄物の総量の実績	30.7%	31.0%	31.2%	31.4%	31.6%	31.8%	R7年度32.0%を目標とする

② ごみ処理施設等の適正な管理

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
時間平均焼却処理率	計画時間あたり焼却処理量に対する焼却量の割合	時間あたり処理量/計画処理量	86.7%	100%	100%	100%	100%	100%	計画処理量100%の確保を目標とする
最終処分場年間埋立量	最終処分場で埋立処理された総量	埋立処理された実績	1,138㎡	1,100㎡	1,100㎡	1,100㎡	1,100㎡	1,100㎡	H30年度比3%削減を目標とする

【まちづくりの大綱3】にぎわいと交流を生みだすまちづくり

■ 観光地域づくりの実践

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
観光売上額	年間観光消費額	妙高市観光地域経済調査	11,643 百万円	12,429 百万円	12,821 百万円	13,214 百万円	13,607 百万円	14,000 百万円	現況値から20%増を目標とする
観光入込客数	年間観光入込客数	妙高市宿泊統計調査	578万人	583万人	587万人	592万人	596万人	600万人	現況値から4%の増を目標とする

① 多様な事業者と連携した観光地域づくり

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
観光コーディネーター数	観光コーディネーターの数	総合、マーケティング、旅行商品のそれぞれのコーディネーター数	1人	2人	2人	3人	3人	3人	総合、マーケティング、旅行商品のそれぞれのコーディネーター数を目標とする
域内循環額	観光産業による域内循環額	妙高市観光地域経済調査	1,979 百万円	2,200 百万円	2,400 百万円	2,600 百万円	2,800 百万円	3,000 百万円	現況値から50%の増を目標とする

② 国際観光都市を目指した観光誘客の強化

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
外国人観光宿泊者数	外国人観光客の年間延べ宿泊数	妙高市宿泊統計調査	59,721人	64,000人	66,000人	68,000人	70,000人	72,000人	現況値から20%の増を目標とする

③ 新たな付加価値を生み出すツーリズムの確立

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
観光体験プログラムの 造成数	観光事業者等との連携 による観光体験プログラ ム数	(現況値) 健康保養地プログラム グリーンツーリズム	2件	3件	4件	5件	5件	5件	3年間で1件ずつの増を目標とする R2: スポーツツーリズム R3: 自然・歴史・文化ツーリズム R4: ガーデンツーリズム
友好都市からの来訪者数	友好都市からの誘客数 (健康保養地プログラム、 保養地協定)	友好都市からの誘客数 (健康保養地プログラム、 保養地協定)	172人	200人	225人	250人	300人	350人	現況値から2倍増を目標とする

■ 国際観光都市としての基盤づくり

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
観光入込客数	年間観光入込客数	妙高市宿泊統計調査	578万人	583万人	587万人	592万人	596万人	600万人	現況値から4%の増を目標とする
妙高市における宿泊施設の満足度	妙高市観光客満足度調査における総合的な満足度が大変満足の割合	妙高市観光客満足度調査	49.9%	50.0%	50.0%	55.0%	55.0%	60.0%	現況値から10ポイントの増を目標とする

① 来訪者の受入体制の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
観光客のリピート率	本市へ2回以上来訪している観光客の割合	妙高市観光客満足度調査	80.8%	82.0%	83.0%	84.0%	85.0%	85.0%	現況値から5ポイントの増を目標とする
二次交通路線数	妙高への来訪や市内を周遊する二次交通路線数	妙高への来訪や市内を周遊する二次交通路線数	10路線	11路線	12路線	13路線	13路線	13路線	新たに3路線の運行を目標とする

② 観光施設の整備

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
主要な観光施設の利用者数	国立公園施設年間施設利用者数(苗名滝、高谷池ヒュッテ、 高谷池ヒュッテ、妙高高原ビジターセンター)	(現況値) 苗名滝: 89,130人 高谷池ヒュッテ: 3,810人 ビジターセンター: 72,190人	165,130人	171,000人	178,000人	184,852人	191,000人	198,000人	現況値から20%の増を目標とする
観光施設整備数	計画期間内に整備した施設の数	計画期間内に整備した施設の数	—	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	5箇所	5箇所増を目標とする ※R2: 妙高山トレランコース R2: 拡張道の駅あたり R3: ビジターセンター周辺整備 R4: 苗名滝遊歩道整備 R5: 妙高山系登山道整備

■ 商工業の振興と中心市街地の賑わいの創出

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市内事業所数	市内の事業所数(予測される減少を抑制)	市税概要の数値	957 事業所	915 事業所	901 事業所	887 事業所	873 事業所	860 事業所 (予測値は 840事業所)	予測される減少の抑制を目標とする(△12%→△10%)
従業員1人あたりの製造品出荷額等	工業統計における市内の製造品出荷額	工業統計市町村統計表	3,160 千円	3,166 千円	3,174 千円	3,182 千円	3,192 千円	3,203 千円	製造品出荷額を人口減を考慮した従業員数で割って算出

① 商工業者の経営課題に対する総合的な支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
企業の立地・業務拡張等数	企業振興奨励条例等に基づく固定資産税免除・賃借料補助金指定件数(平成27年度からの累計)	企業振興奨励条例等による指定件数(指定日の属する年度で算出)	42件	47件	52件	57件	62件	67件	年間5件の増を目標とする



② 市街地の賑わいの創出

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
賑わいづくりのイベント・朝市入込数	商工会議所・各商工会等が主体となるイベントと朝市の入込数	商工会議所・各商工会のからのイベント参加報告人数+朝市の県への報告人数	169,459人	171,600人	173,200人	174,800人	176,400人	178,000人	毎年約1% (1,600人)の増を目標とする

■ 安定して働きやすい雇用の創出

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
企業の雇用創出数	企業振興奨励条例等における新規雇用創出数(平成27年度からの累計)	企業振興奨励条例等における新規雇用創出申請数	75人	82人	88人	94人	100人	106人	年間6人の増を目標とする
地元就職率	就職した高校生のうち妙高市、上越市の事業所に就職した割合	ハローワーク上越調べ	73.9%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80%以上を目標とする

① 企業誘致等の促進と起業支援の強化

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
企業の立地・業務拡張等数	企業振興奨励条例等に基づく固定資産税免除・賃借料補助金指定件数(平成27年度からの累計)	企業振興奨励条例等による指定件数(指定日の属する年度で算出)	42件	47件	52件	57件	62件	67件	年間5件の増を目標とする
市内での新規起業数	市の補助制度を活用し、新たに起業した事業所の数(平成27年度からの累計)	補助制度を活用し、新たに起業・創業した事業所の申請数	25件	28件	31件	34件	37件	40件	年間3件の増を目標とする

② 働き方改革による雇用環境の改善

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
雇用・労働環境の充実の満足度	市民意識調査における回答の割合	R5年度に実施する「まちづくり市民意識調査」による	5.4%	—	—	—	18.2%	18.2%	市民意識調査の満足度の平均値以上を目標とする
テレワークによって市内に雇用が創出されたワーカー数	テレワークによって市内で雇用されたワーカー数	市のコーディネート組織のワーカー登録者数	—	0人	10人	20人	50人	100人	計画期間内に100人の登録を目標とする

③ 労働力の確保に向けた就業支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市内企業見学参加者数	一般の就労希望者や高校生を対象とした企業見学会の参加者数	市等が開催する企業見学会への参加者数	3人 (高校生のみ)	15人	24人	33人	42人	50人	高校生の総数と就職希望割合で算出し、50人を目標とする
コーディネート組織を通じた市内企業と都市部のビジネスマッチング件数	コーディネート組織を通じたビジネスマッチングの件数	コーディネート組織を通じたビジネスマッチングの件数	—	3件	10件	15件	18件	20件	計画期間内に20件を目標とする

■ 持続可能な農業の振興

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
農業産出額	生産農業所得統計において推計した都道府県別農業産出額を農業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分したもの	農林水産省が公表する「市町村別農業産出額(推計)」による	2,580 百万円	2,600 百万円	2,620 百万円	2,640 百万円	2,660 百万円	2,680 百万円	現況値を基準とし、前年比増加率(0.78%)を乗じて算出

① 持続可能な農業経営の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
主食用米の作付面積	水田フル活用ビジョンにおける主食用米の作付面積	2018実績を基準とし、全国需要の10年間の平均減少率0.989を乗じて算出している	1,591ha	1,571ha	1,571ha	1,570ha	1,570ha	1,570ha	R2年以降は全国的な需要の減少を勘案して、面積増加の抑制(維持)を目標とする
経営耕地面積が20ha以上の法人の割合	農地所有適格法人に占める経営耕地面積が20ha以上の法人の割合	経営耕地面積20ha以上の農地所有適格法人数/農地所有適格法人数	52.9%	53.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%	法人の新設、統合等により20ha以上の法人数を9、全数を15と想定し目標値を設定し、経過値は規模拡大傾向を表すものとする

② 妙高ブランドを高める六次産業化の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市内農産物直売所の年間売上額	市内直売所の売上額(ひだなん・とまと・みょうこう)	2直売所(ひだなん・とまと)のH28からH29年度の売上伸び率103%を基準とし、みょうこうの売上を加算して算出	449 百万円	664 百万円	681 百万円	695 百万円	697 百万円	700 百万円	R2年まで前年比104% R4年まで前年比102% 以降は前年比≒100%
特産品として商品化された農産品・加工品数	国の山村活性化支援事業を活用して六次産業化に取り組んだ団体により特産品として商品化された品数	新たに特産品として商品化された品数をカウント	3品	3品	4品	4品	5品	5品	新たな商品造成には、二一スの把握や成分調査等が必要なことから、3年程度かかるものとし、2品増を目指す

③ 農業基盤の整備・長寿命化と農作業の効率化

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
水田のほ場整備面積	計画期間内での水田のほ場整備面積	令和6年度までのほ場整備計画面積を加算(杉野沢、広島、柳井田)	—	35ha	55ha	61ha	61ha	76ha	目標年度までの市内のほ場整備計画予定面積を加算
担い手への農地集積率	農林水産省作物統計調査における市内耕地面積のうち担い手が耕作している面積の割合	担い手の耕作面積/市内耕地面積	46.5%	49.2%	51.9%	54.6%	57.3%	60.0%	これまでの実績や市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を勘案して設定

【まちづくりの大綱4】全ての人々が元気に活躍できるまちづくり

■ 健康づくりの推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
健康寿命と平均寿命の差	市民の健康寿命(A)と平均寿命(B)の差	平均寿命(平均余命)-健康寿命(自立期間)(KDB(国保データベースシステム)より算出)(現況値) 男性(A)79.3歳(B)81.1歳 女性(A)84.1歳(B)87.8歳	男性1.8歳 女性3.7歳	男性1.8歳 女性3.7歳	男性1.8歳 女性3.7歳	男性1.8歳 女性3.7歳	男性1.8歳 女性3.7歳	男性1.8歳 女性3.7歳	現況値よりも差を減少させる

① 市民の主体的な健康づくりの支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
生活習慣病予防のための運動習慣の定着率(65歳以上の男性)	国保特定健診及び市民健診を受診した65歳以上の男性のうち、1日30分以上の運動を週2回以上実施し1年以上継続している人の割合	国保特定健診及び市民健診を受診した65歳以上の男性のうち、1日30分以上の運動を週2回以上実施し1年以上継続している人の割合	43.3%	46.0%	49.0%	52.0%	55.0%	58.0%	年平均3%増を目指す

② 生活習慣病の発症・重症化予防の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
特定健診受診率	国保加入者のうち特定健診を受診した者の割合	新潟県国民健康保険団体連合会にて算出	58.3%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	国の市町村国保の目標値に準ずる
特定保健指導実施率	特定保健指導該当者のうち保健指導終了者の割合	新潟県国民健康保険団体連合会にて算出	61.4%	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%	65.0%	H29年度以前に国の目標値である60%を達成している実績があることから、年1ポイント程度の伸びを目標とする
肥満者の割合(20~69歳の男性)	国保特定健診及び市民健診を受診した20~69歳の男性のうちBMI25以上の者の割合	国保特定健診結果より算出	31.0%	31.0%	31.0%	31.0%	31.0%	31.0%	現況値よりも減少させる
脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎不全の総医療費に占める割合	国保総医療費のうち、脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎不全にかかる医療費の割合	KDB(国保データベースシステム)より最大医療資源で算出	5.41%	5.41%	5.41%	5.41%	5.41%	5.41%	現況値よりも減少させる

■ 地域医療体制の確保

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
上越地域の医療機関利用率	市民意識調査における回答の割合	市民意識調査における回答の割合(かかりつけ医が二次医療圏(上越地域)にある割合)	96.5%	—	—	—	96.5%	96.5%	現況値以上を目標とする

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

資料編

① 市内病院等の医療提供体制の維持

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市内病院数	市内における病院数 (けいなん総合病院、県立妙高病院)	けいなん総合病院、県立妙高病院	2病院	2病院	2病院	2病院	2病院	2病院	現状を維持することを目標とする
市内病院の常勤医師数	安定した診療体制維持のためのけいなん総合病院及び県立妙高病院における常勤医師数 (研修医除く)	両病院からの聞き取り結果	15人	15人	15人	16人	16人	16人	過去5年間の増減数をもとに目標値を設定
市内病院の診療科目数	けいなん総合病院・県立妙高病院で開設されている外来診療科目とリハビリテーション科の合計	両病院からの聞き取り結果	13科目	13科目	13科目	13科目	13科目	13科目	現況値以上を目標とする

② 救急医療の連携体制の維持

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
救急医療を担う病院の数(第二次救急医療体制)	妙高市・上越市において救急医療を輪番制で担う病院の数	上越保健所管内の第二次救急医療機関(労災病院、上越総合病院、けいなん総合病院、上越地域医療センター病院、妙高病院、柿崎病院、知命堂病院)	7病院	7病院	7病院	7病院	7病院	7病院	医師の負担増大を防ぎ、安定して体制継続させるため現状維持を目標とする
救急搬送数に占める軽症者の利用割合	妙高市・上越市の救急搬送数に占める軽症(入院を要しない)者の割合	上越消防HP掲載の公表・統計データのうち各年の「火災・救急・救助の概況」の中の「傷病程度別救急搬送人員表」より積算	46.4%	46.4%	46.4%	46.4%	46.4%	46.4%	現況値以下を目標とする

■ 介護予防・高齢者福祉の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
要介護認定率	65歳以上人口における要介護認定者数の割合(予測される増加を抑制)	要介護認定者数÷高齢者数	20.1%	20.7%	21.0%	21.3%	21.6%	22.0% (予測値は22.8%)	R7年度22.8%の将来推計であるため、これを下回ることを目指す

① 市民の主体的な介護予防・元気づくりの推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
訪問型サービス・通所型サービス利用者の改善・維持率	訪問型サービス・通所型サービス利用者のうち状態が改善・維持している人の割合	改善・維持者数/事業対象者数(基本チェックリスト該当者)	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	現況値以上を目標とする
地域の茶の間実施数	月2回以上開催している地域の茶の間の実施箇所数	食推や介護予防サポーターへの調査(毎年度3~4月)や社協の茶の間の事業助成状況から把握	32地区	34地区	35地区	36地区	37地区	38地区	毎年度1地区ずつの増加を目指す

② 地域での安心な暮らしと生きがいづくり

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
生活支援ボランティアの登録支援者数	社会福祉協議会において生活支援サービスを提供する有償ボランティア数	市社会福祉協議会における生活支援ボランティアの支援者の登録者数	55人	60人	65人	70人	75人	80人	毎年5人ずつの増加を目指す
地域課題の解決を検討している地区の数	地域ケア会議開催により課題の共有と解決を検討する地区の数	地域課題の解決に向け、検討や取り組みを開始した地区数	2地区	4地区	6地区	8地区	9地区	10地区	毎年度1~2地区ずつ増加を目指す

③ 在宅医療・介護連携の強化

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
入退院時支援など在宅医療・介護連携が円滑に行われている割合	介護支援専門員へのアンケート調査	在宅医療推進センターや市で行う調査	63.8%	65.0%	66.0%	67.0%	68.0%	70.0%	退院に向けての連携を困難に感じない人の割合を現状よりも1%以上ずつ増やす

■ 障がい者福祉の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
障がい者のサービス利用割合	手帳保持者のうちサービス等利用計画を作成した人数の割合	障がい福祉サービス等利用計画作成件数/手帳保持者	21.5%	23.5%	24.2%	25.0%	25.0%	26.6%	手帳保持者数は人口ビジョンの将来推定人口を基に1,805に設定 サービス等利用計画作成件数は障がい福祉計画に定めた目標値472を上回る480に設定

① 相談支援体制の充実と地域で生活できる基盤づくり

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
障がい者相談室の相談件数	市障がい者相談室と市外事業所(委託先:上越市)の相談延べ件数	市障がい者相談室と市外事業所(委託先:上越市)への相談延べ件数	2,926件	2,950件	2,962件	2,975件	2,987件	3,000件	毎年12~13件の増を目標とする

② 障がい福祉サービスの充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市内の相談支援専門員の人数	相談支援専門員の資格取得者数	相談支援専門員の資格取得者数	3人	4人	4人	5人	5人	6人	現況値から3人増を目標とする
手話奉仕員の数	妙高市手話奉仕員認定者数	妙高市手話奉仕員認定者数	3人	4人	4人	4人	4人	5人	現況値から3人増を目標とする2人増を目標とする

③ 就労支援サービスの充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市内就労支援施設利用者の工賃月額	就労継続支援B型利用者の作業工賃月額平均	市内4事業所の年間工賃支払総額/工賃支払総額延べ人数	16,245円	17,160円	17,620円	18,080円	18,540円	19,000円	年間約460円増を目標とする ※新潟県工賃向上計画に示す目標値
就労移行率3割以上の事業所数の割合	市内の就労移行支援事業所数のうち就労移行率が3割以上の事業所数の割合	市内3事業所のうち就労移行率3割以上の事業所数の割合	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	現況値の維持を目標とする ※市内3事業所のうち2事業所が3割クリアすることを目標とする

■ 生活困窮者等の自立支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
生活保護受給者の割合	推計人口に対する生活保護受給者の割合(千分率表示)	3月生活保護受給者数÷3月推計人口	8.28‰ 【パーミル】	8.21‰	8.14‰	8.08‰	8.01‰	7.93‰	生活保護世帯を前年比△5人で推計

① 生活保護受給者に対する就労支援と健康管理支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
就労支援による被保護者の就労者数の割合	支援対象者に対する就労者数の割合(年度末現在)	H30支援対象者25名を分母とした場合の当該年度就労者数の割合	56.0%	64.0%	68.0%	72.0%	76.0%	80.0%	就労者を前年度比1名増とすることを目標とする
就労支援による保護廃止件数	就労支援による就労をきっかけとした保護廃止件数	就労支援により保護廃止に至った件数	1件	1件	2件	2件	3件	3件	現況値よりも1~2件増を目標とする

② 生活困窮者、ひきこもり等に対する自立支援の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
支援プラン作成件数に対する就労者数の割合	生活困窮者等自立支援事業における支援プラン作成件数に対する就労者数の割合	H30支援対象者34名を分母とした場合の当該年度就労者数の割合	50.0%	56.0%	62.0%	67.0%	74.0%	79.0%	前年度比2名程度増を目標とする(就労者数)

■ 地域コミュニティの維持・再生

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
地域運営組織の設立・運営数	地域住民が中心となって地域の課題解決に向けた取組を始めた組織数	地域自らが組織を立ち上げ、課題を解決するために活動している組織数 (現況：いきいき長沢、みずほつと、ふるさとづくり妙高、ゆめきゃんぱす)	4組織	6組織	8組織	10組織	12組織	14組織	毎年2組織の設立を目標とする

① 地域住民が主体となった地域運営組織の形成

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
全住民アンケート等、地域の課題把握を行った地区数	地域課題を把握するために活動した地区数	全住民アンケート等により地域課題の把握を行った地区数	3地区	6地区	8地区	10地区	12地区	14地区	毎年2地区の増を目標とする
課題解決のための将来ビジョンを策定した地区数	課題解決に向け、今後の方向性を明確にした地区数	地域課題を把握し、将来に向けた計画を作成した地区数	1地区	6地区	8地区	10地区	12地区	14地区	毎年2地区の増を目標とする

② 地域を担う人材の育成と市民活動の支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
地域づくりコーディネーターの数	地域活動のリーダーであるコーディネーターの数	地域活動の中心となるリーダーを育成する	—	5人	10人	15人	20人	28人	54の地域づくり協議会の半数以上にリーダーがいる状態を目指す
市内で活動する市民活動団体の数	市内で活動するNPO法人数	市内で活動するNPO法人の数	23法人	24法人	25法人	26法人	28法人	30法人	認可された組織化を目指し、継続的な活動につなげる

■ 移住・定住による地域の維持

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
移住支援窓口を通じた移住者数	住宅取得等の支援により移住した人数(H26年度からの累計)	住宅取得等の支援により移住した人数(H26年度からの累計)	437人	650人	760人	870人	980人	1,090人	毎年110人の移住を目標とする

① 移住・定住の促進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
移住・定住を目的とした空き家等の活用数	空き家登録制度に登録された空き家が利用(売却)された件数(H21年度からの累計)	空き家登録制度に登録された空き家が利用(売却)された件数(H21年度からの累計)	116件	180件	210件	240件	270件	300件	毎年30件の空き家活用を目標とする

② 地域住民と移住者の相互共生に向けた支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
移住・定住後の満足度	移住・定住者を対象としたアンケート調査における回答の割合	アンケート調査における、移住定住してよかったと満足している人の割合	—	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	市民意識調査(H30)における、市民が抱く暮らしやすさの満足度75%と同レベルを目標値とする

■ 人権意識の向上

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市民一人ひとりの人権が尊重されていると感じている市民の割合	人権に関する市民意識調査における回答の割合	市民意識調査において「よく守られている」及び「だいたい守られている」と回答した割合	72.4%	—	—	—	80.0%	80.0%	現況値から毎年度約1.5%増を目標とする

① 人権尊重のための幅広い施策の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
人権講演会等の参加者数	人権講演会等の参加者数	人権講演会等の参加者数	830人	865人	900人	935人	970人	1,000人	現況値から毎年度約35人増を目標とする

② 男女共同参画の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
審議会等への女性登用率	審議会等への女性登用率	審議会等への女性登用率	31.1%	35.3%	36.8%	38.3%	39.8%	40.0%	現況値から毎年度約1.5%増を目標とする
社会通念・習慣しきたりの中で男女平等なまちであると感じている市民の割合	市民意識調査における回答の割合	市民意識調査における回答の割合	17.8%	—	—	—	24.0%	24.0%	現況値から毎年度約1.3%増を目標とする

③ 多文化共生の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
外国人の人権は守られていると感じている市民の割合	人権に関する市民意識調査における回答の割合	市民意識調査において「外国籍住民の人権が尊重されている」と回答した割合	19.1%	—	—	—	25.0%	25.0%	現況値から毎年度1.2%増を目標とする

【まちづくりの大綱5】郷土を築く人と文化を育むまちづくり

■ 結婚・出産・子育て支援の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
出産や子育て支援サービスの満足度	子ども・子育て支援に関するアンケートにおける回答の割合	アンケートにおいて、「満足」「やや満足」と回答した人の割合	75.5%	—	—	—	80.0%	80.0%	5年間で5%増を目標とする

① 結婚活動への支援の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
市の事業を通じての成婚数	マッチング支援等の市の事業を利用したかたの成婚数	夫婦のうちどちらかでも、市の事業を利用したかたの成婚	—	4組	8組	12組	16組	20組	年間4組の成婚数を目標とする(年間成婚数の約5%)

② 妊娠・出産に対する不安の解消

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
安心して妊娠・出産を迎えられる妊婦の割合	出生届出時のアンケートによる回答の割合	出生届出時のアンケートにおいてサポート体制に満足した人の割合	—	100%	100%	100%	100%	100%	出産した妊婦全員が安心してという結果を目指す

③ 安心して子どもを育てられる支援の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
ファミリー・サポート・センターのサービス提供会員数	ファミリー・サポート・センターのサービスを提供できる会員数	育児の応援をしたい「まかせて会員」と育児の応援をしてほしい「おねがい会員」の両方登録者と、「まかせて会員」のみ登録者の計	165人	176人	182人	188人	194人	200人	「おねがい会員」の増加率である年間約4%に見合うよう、毎年度約4%の増加を目指す

④ 要保護児童等への支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
虐待案件の解決数	要保護児童対策地域協議会の虐待案件の解決数	要保護児童対策地域協議会が支援を行っている案件のうち、支援を必要とする状況が解消した件数	13件	15件	16件	17件	18件	20件	現況値から毎年度約1%増を目標とする

■ 幼児の教育・保育環境の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
園運営に満足している保護者の割合	保護者アンケートにおける回答の割合	アンケートにおいて、「園運営が適切だ」と「思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合	96.8%	100%	100%	100%	100%	100%	保護者全員の満足を目指す

① 安全・安心な教育・保育環境の整備

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
園舎整備率	幼稚園・保育園整備構想に基づく園舎整備率	構想に基づく統合等の整備割合	70.0%	70.0%	70.0%	100%	100%	100%	第三保・妻太南保・矢代保⇒R4整備予定(3園)
待機児童の発生人数	待機児童の発生人数	待機児童の発生人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	待機児童を発生させないことを目指す(0人を維持する)

② 健やかな幼児を育む教育・保育サービスの提供

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
標準的な体格の園児の割合	肥満度-15%～+15%の園児の割合	肥満度-15%～+15%の園児の割合	94.9%	95.0%	95.5%	96.0%	96.5%	97.0%	現況値から毎年度約0.5%増を目標とする
朝食の欠食率	3～5歳児の朝食の欠食率	3～5歳児の朝食の欠食率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	現況値以下を目標とする

■ 健やかな心と体の育成

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
いじめが解消された割合	学校調査によるいじめ発生件数に対する3カ月以上観察後の解消件数の割合	いじめの解消件数/発生件数	97.3%	100%	100%	100%	100%	100%	発生したいじめの完全解消、発生抑制を目指す

① 体験学習の充実による「ほんもの教育」の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
リーダーシップ能力が向上した児童の割合	フレンドスクールアンケートによるリーダーシップ能力の事前・事後比較	事前と事後のリーダーシップ能力の差	83.8%	84.4%	85.0%	85.6%	86.2%	87.0%	現況値から毎年度約0.6%増を目標とする

② 情報モラル教育の推進といじめの防止・解消

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
児童生徒が関わるインターネットトラブルの件数	児童生徒が関わるインターネットトラブルの発生件数	児童生徒が関わるインターネットトラブルの発生件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	発生させないことを目標とする

③ 健やかな体を育むための支援の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
肥満度が20%以上の児童生徒の割合	学校健診による肥満度20%以上の児童生徒の割合	肥満度20%の児童生徒数/全児童生徒	7.4%	7.3%	7.2%	7.1%	7.1%	7.0%	現況値から0.4%減を目標とする

■ 確かな学力の定着に向けた支援

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
全国学力テスト等の得点率が全国平均以上の科目の割合	全国学力テスト等の得点率が全国平均以上になった科目数が全体科目数に占める割合	全国平均以上になった科目数/全科目数	91.7%	100%	100%	100%	100%	100%	全科目で全国平均以上を目標とする

① 基礎学力の向上・定着化の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
全国標準学力検査(NRT)の得点率が全国平均を超えた割合(国語)	全国標準学力検査の観点別集計で全国平均を上回った割合(国語)	全国平均を上回った学校数/市内小中学校数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%の維持を目指す
全国標準学力検査(NRT)の得点率が全国平均を超えた割合(算数・数学)	全国標準学力検査の観点別集計で全国平均を上回った割合(算数・数学)	全国平均を上回った学校数/市内小中学校数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%の維持を目指す

② グローバル化に対応する教育の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
全国標準学力検査(NRT)の得点率が全国平均を超えた割合(英語)	全国標準学力検査の観点別集計で全国平均を上回った割合(英語)	全国平均を上回った学校数/市内小中学校数	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%の維持を目指す
外国人と関わる活動に参加した児童生徒の割合	外国人と関わる活動に参加した児童生徒数が全児童生徒数に占める割合	外国人と関わる事業(海外宿泊体験学習、国際姉妹都市交流、フレンドスクール)等に参加した児童生徒/全児童生徒	13.0%	15.0%	17.0%	19.0%	21.0%	23.0%	年2%の増を目標とする

■ 学習環境の整備

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
児童生徒が安全・安心に学習できると感じている保護者の割合	保護者アンケートにおける回答の割合	児童生徒が安全・安心に学習できると感じている保護者/全児童生徒の保護者	—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	総合的な満足度で一定の目標として80%以上を目標とする

① 学校施設の長寿命化の推進と教育環境の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
長寿命化改修・大規模改造工事の実施校数	学校施設長寿命化計画に基づく改修・改造工事延べ実施校数	学校施設長寿命化計画に基づく改修・改造工事延べ実施校数	—	5校	6校	11校	12校	14校	学校施設長寿命化計画より
特別教室への冷房設備設置工事の実施校数	整備計画に基づく設置工事の実施校数	整備計画に基づく設置工事の実施校数	—	6校	11校	11校	11校	11校	整備計画より

② 全ての子どもの学習機会の保障

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
教育にかかる経済的負担が軽減したと感じている保護者の割合	保護者アンケートにおける回答の割合	アンケートにより、教育にかかる経済的負担が軽減したと感じている保護者の割合	—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	総合的な満足度で一定の目標として80%以上を目標とする

■ 人生100年時代の生涯学習の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
社会教育施設利用者数	社会教育施設の年間延べ利用者数	社会教育施設の年間延べ利用者数	165,812人	166,641人	167,474人	168,311人	169,153人	170,000人	現況値から毎年約0.5%増とし、170,000人を目標とする

① 「妙高市民の心」を基盤としたつながりづくり

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
「オール妙高あいさつ運動」の参加者数	あいさつ運動の1日あたりの参加者数	あいさつ運動の1日あたりの参加者数	777人	800人	825人	850人	875人	900人	毎年25人増とし、900人を目標とする
「妙高市民の心」推進応援事業所の登録件数	事業所の登録件数	推進応援事業所の年度登録件数	121件	131件	141件	151件	161件	170件	毎年10件増とし、170件を目標とする

② 学びの成果を活かす仕組みづくり

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
生涯学習講座「まなびの杜」の参加者数	生涯学習講座の年間延べ受講者数	生涯学習講座の年間延べ受講者数	1,001人	1,210人	1,330人	1,460人	1,600人	1,800人	毎年概ね1割増とし、1,800人を目標とする
地域活動人材登録者数	地域活動人材の登録者数	地域活動人材の登録者数	326人	340人	355人	370人	385人	400人	毎年15人増を目標とする

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章

資料編

③ 学びを支える活動拠点の整備・充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
図書館の貸出利用者数	図書館の年間延べ貸出利用者数	年間延べ貸出利用者数	27,477人	27,600人	27,700人	27,800人	27,900人	42,000人	現況値の概ね1.5倍の利用者数を目標とする

■ 生涯を通じたスポーツ活動の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
成人における週1回以上のスポーツや運動の実施率	市民意識調査における回答の割合	5年毎に実施の市民対象にした生涯スポーツ実態調査での調査項目であり、次回の調査はR2年、次々回はR7年であることから、R5年の市民意識調査において確認する	27.4% (H27生涯スポーツ実態調査)	—	—	—	50.0%	50.0%	市民の2人に1人が実施することを目標とする

① 生涯スポーツの推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
総合型地域スポーツクラブの利用者数	総合型地域スポーツクラブの年間延べ利用者数	総合型地域スポーツクラブで実施するジュニアスポーツクラブ活動、フィットネスや水泳などの各教室のほか、指定管理者が実施する自主教室の利用申込数	4,342人	4,430人	4,470人	4,510人	4,560人	4,600人	市民の運動習慣の定着やスポーツ実施率の向上により、毎年約1.0%の増を目標とする

② 競技スポーツの推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
ジュニア競技者の大会出場率	市内小中学生のうち県大会以上の大会に出場した者の割合	激励金実績、スキー指定選手や遠征費補助金により把握した出場者実績(実人数)/市内小中学生の人数	10.0%	10.5%	10.8%	10.8%	10.9%	11.0%	人口減少などにより競技スポーツ人口の減少が想定される中で、現況の県大会以上の出場者数(219人)を維持していくことを目標とする

③ スポーツ環境の充実

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
スポーツ施設の利用者数	スポーツ施設の年間延べ利用者数	公共のスポーツ施設の年間延べ利用者数	326,712人	331,000人	333,000人	335,000人	337,000人	340,000人	施設の市民利用を現行0.4%/年から0.5%/年に増加させるほか、合宿利用を計画期間内で3,000人程度の増を目標とする

■ 歴史文化資源の保存と活用

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
歴史・芸術文化拠点の来場者数	道の歴史館、妻太歴史の里、妙高芸術祭における来場者数	道の歴史館、妻太歴史の里、妙高芸術祭(四季彩展・市展・ジュニア展)における来場者数	33,886人	34,600人	35,200人	35,800人	36,400人	37,000人	現況値から毎年約0.6%増を目標とする

① 歴史文化の継承と活用

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
歴史文化保存活用計画を策定し、地域活性化事業に取り組む地区数	歴史文化保存活用計画を策定し地域活性化事業に取り組む地区数	歴史文化保存活用計画を策定し地域活性化事業に取り組む地区数	—	2地区	3地区	3地区	3地区	4地区	R3年までに重点3地区の計画を策定し、R6年までに新たに1地区の計画を策定する
指定・登録文化財数	国・県・市指定文化財数と国登録有形文化財数	国・県・市指定文化財数と国登録有形文化財数	85件	86件	87件	88件	89件	90件	毎年1物件増を目標とする

② 魅力ある芸術文化事業の推進

項目	指標の説明	算出方法 ※計算式など	現況値 (H30)	経過値 (R2)	経過値 (R3)	経過値 (R4)	経過値 (R5)	目標値 (R6)	目標値(R6)の根拠 ※計算式など
美術展覧会の出品数	四季彩展・市展の出品数	四季彩展・市展の出品数	272点	280点	285点	290点	295点	300点	現況値から概ね10%増を目標とする

策定委員名簿

《第3次妙高市総合計画審議会委員》

(順不同・敬称略)

	氏 名	所 属 等
会 長	吉 田 昌 幸	上越教育大学 准教授
副 会 長	齋 藤 光 雄 (古田 芳久)	上越地域振興局 企画振興部長
委 員	池 田 和 資	新井商工会議所 副会頭
"	安 原 義 之	妙高市農業委員会 会長
"	中 嶋 正 文	(一社)妙高ツーリズムマネジメント 副会長
"	山 本 豊 (桑原 大)	環境省 信越自然環境事務所 妙高高原自然保護官事務所 自然保護官
"	石 川 文 夫 (伊比 政憲)	第四銀行新井支店 支店長
"	塚 田 憲 章	連合新潟上越地域協議会 頸南支部 事務局長
"	小 栗 康 雄	新井有線放送農業協同組合 業務課長
"	児 玉 久美子	妙高子育て支援NPO法人ゆめきゃんぱす 代表理事
"	小 嶋 久美子	妙高市教育委員会 委員
"	飯 吉 悟	妙高市民生委員児童委員協議会 会長
"	望 月 広 伸	一般社団法人 妙高青年会議所 直前理事長
"	広 島 直 人	わかもの会議 会長
"	小 川 夕 子	わかもの会議 委員
アドバイザー	朝比奈 一 郎	妙高市地域活性化アドバイザー (青山社中(株) 筆頭代表)

()内は前任者

《 庁内策定委員会委員名簿 》

(順不同・敬称略)

役 職	職 名	氏 名
委員長	副市長	西澤 澄男 (市川 達孝)
副委員長	教育長	川上 晃 (小林 啓一)
委員	総務課長	平出 武 (久保田 哲夫)
〃	財務課長	平井 智子
〃	市民税務課長	小嶋 和善
〃	建設課長	杉本 和弘
〃	環境生活課長	岩澤 正明 (岡田 雅美)
〃	福祉介護課長	岡田 雅美 (葭原 利昌)
〃	健康保険課長	今井 一彦 (吉越 哲也)
〃	農林課長兼 農業委員会事務局長	吉越 哲也 (今井 一彦)
〃	観光商工課長	城戸 陽二 (竹田 幸則)
〃	妙高高原支所長	小林 孝幸
〃	妙高支所長	高橋 正一 (内田 正美)
〃	会計課長	金子 卓也
〃	ガス上下水道局長	米持 和人
〃	こども教育課長	松橋 守 (平出 武)
〃	生涯学習課長	山本 毅
〃	議会事務局長	築田 和志 (岩澤 正明)
〃	監査委員事務局長	亀井 昇次

()内は前任者

《 庁内策定プロジェクトチーム 》

(順不同・敬称略)

	職 名	氏 名
生活行政部会 (9名)	総務課 課長補佐	◎ 横 田 晃 悦 (高橋 正一)
	財務課 課長補佐	○ 西 條 保
	総務課 危機管理室長	丸 山 豊
	ガス上下水道局 次長	松 木 博 文
	建設課 課長補佐	渡 部 雅 一 (後藤 豊)
	総務課 人事行革係長	小 林 あゆみ
	財務課 財政係長	真 田 賢 司
	建設課 まちづくり係長	小 林 豊
	環境生活課 生活安全係長	竹 内 正 則
産業環境部会 (7名)	観光商工課 課長補佐	◎ 大 野 敏 宏 (城戸 陽二)
	農林課 課長補佐	○ 鴨 井 敏 英
	環境生活課 課長補佐	松 岡 孝 一
	観光商工課 商工振興グループ長	竹 田 敦 子 (宮川 尚史)
	観光商工課 観光振興グループ長	宮 下 孝 (池田 清人)
	農林課 農山村振興係長	大 沢 光 紀
	環境生活課 環境企画係長	渡 辺 能 成 (岸本 学)
地域共生部会 (9名)	福祉介護課 課長補佐	◎ 松 原 久 子 (田中 かおる)
	健康保険課 課長補佐	○ 田 中 かおる (松原 久子)
	市民税務課 課長補佐	後 藤 豊 (吉越 正)
	妙高支所 次長	植 木 淳
	妙高高原支所 次長	岩 銅 健 治
	福祉介護課 高齢福祉係長	大 野 貞 治
	福祉介護課 地域包括係長	保 坂 あかね
	健康保険課 健康づくり係長 (健康保険課 医療年金係長)	田 中 宏 顕 (阿部 光洋)
	総務課 地域協働推進係長	丸 山 孝 夫

◎はリーダー ○はサブリーダー ()内は前任者



(順不同・敬称略)

	職 名	氏 名
生活行政部会 (9名)	こども教育課 課長補佐	◎ 阿 部 光 洋 (松橋 守)
	生涯学習課 課長補佐	○ 宮 川 尚 史 (大野 敏宏)
	生涯学習課 健康スポーツ振興室長	余 野 等
	こども教育課 学校教育係長	山 川 高 士
	こども教育課 幼児教育係長	上 田 かおり
	こども教育課 子育て支援係長	横 山 慎一郎 (高橋 勉)
	生涯学習課 生涯学習推進係長	小 林 英 彦

◎はリーダー ○はサブリーダー ()内は前任者

《事務局》

職 名	氏 名
企画政策課 課長	葭 原 利 昌 (松岡 由三)
企画政策課 課長補佐	岡 田 豊
企画政策課 政策調整グループ 係長	長谷川 賢 治
企画政策課 政策調整グループ	西 山 祐 貴

()内は前任者

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

資料編